

多賀工業会 東京支部會報

2012年8月 第15号



根雪の積もる頃

第31回同窓の集い

平成23年6月25日 於：上野精養軒



いつも校歌伴奏をしてくれる 橘 弘 (昭38学電) さんが今回のギター演奏者 村松泰弘さんと事前に音合わせをしてくれていた。



懇親会：寮歌となれば懐かしい。先輩方も元気よく若者らにも負けないぞ・・・。



演奏会：演奏の松村氏も真剣なら聴衆の皆も真剣。ご夫妻で来られた方もありました。



懇親会：出席者の最若手もにこやか

詠進歌入選 寺門龍一 (昭25 専電) 本部顧問

寺門龍一氏 (多賀工業会初代会長) は今年の宮中歌会始の儀 (お題「岸」) で見事入選の栄に浴されました。 [関連記事 7頁]

(平成24年1月12日 NHK放映)



***** 2012年 第15号 目次 *****

| | | |
|--------------|--------------------------------|--------------|
| カラー写真 | 第31回同窓の集い写真集 | 1 |
| | 詠進歌入選 寺門龍一氏 入選歌と賜物写真 | 1 |
| 目次 | 第15号会報目次 | 2 |
| 案内 | 第32回同窓の集いご案内 | 3 |
| 報告 | 第31回同窓の集い報告 | 小澤 茂 4 |
| | ギターで綴る世界の名曲（演奏者 村松泰弘氏） | 石川 久 4 |
| | 支部長ご挨拶 | 支部長 上月 秀俊 5 |
| | 同窓の集い出席者名簿 | 5 |
| | 平成23年度東京支部会計報告 | 6 |
| | 平成24年度東京支部予算 | 6 |
| 祝 | 詠進歌入選関連記事と教え子たちの喜び | 会報編集室 7 |
| | 春の叙勲受章 山崎慎一郎氏と小波倭文朗氏 | 会報編集室 7 |
| 随筆 | 卒業して六十余年 | 平木 康一 8 |
| | 諸国雑感 | 金子 民生 9 |
| | クラウドは道楽？ | 伊藤 琢巳 10 |
| | 仕事・家庭のバランス | 鈴木 葉子 11 |
| | 硬派な Aussie ガール | 滝澤 惟 12 |
| 悼む | 廣瀬行一幹事長急逝 ご逝去を悼む | 支部長 上月 秀俊 13 |
| | 弔辞 | 橋本 政巳 13 |
| 支部めぐり | 日立綜合支部の紹介 | 磯崎 公郎 14 |
| | 六角堂再建なる | 会報編集室 14 |
| お知らせ | 囲碁同好会 | 田中栄太郎 15 |
| | 旧制水戸高校と親善囲碁大会 | 高田 丈夫 15 |
| | ゴルフ同好会 | 小澤 茂 16 |
| | 山遊会 | 小森 廣樹 17~18 |
| | 写真同好会 | 小林 渡 19~20 |
| | 第31回同窓の集い写真展展覧リスト | 写真同好会 20 |
| | こうがく祭 | 小林 渡 20 |
| | 平成23年度会費納入者、寄付者名簿 | 会報編集室 21~22 |
| | 東京支部組織表 | 23 |
| | 東京支部会則 | 24 |
| | 女子会その後の推移 | 小澤 茂 25 |
| | 編集後記 | 25 |
| | 平成23年度同窓の集い写真展 作品の中から | 26 |
| 協賛広告 | 上野精養軒、ジュン・ホーム、大協印刷 | 表 4 |

表紙の説明 : **根雪の積もる頃** (撮影 2009年12月) 撮影地: 山形県新庄市の近郊
 昔は渋柿でも干し柿にするために収穫していたのですが、今は人手がないせいか そのまま放置され、熟して凍って絶好の被写体になっています。 **三好 成實** (昭39学機)
 この写真をじっくり見ていたら
 採る人のなき里山の鈴生りの柿の実に降る雪の白さよ
 のような歌が出来ました。(編集子)

表紙の題字: 小澤 茂 会員 (昭43学子)

第 32 回多賀工業会東京支部同窓の集いご案内

1. 日 時 平成 24 年 10 月 13 日 (土) 午後 3 時から
2. 場 所 上野精養軒 (右図参照)
東京都台東区上野公園 4-58
電話 03-3821-2181 (代表)

交 通

- : JR 上野駅公園口下車徒歩 5 分
- : 京成線京成上野駅下車徒歩 5 分
- : 東京メトロ銀座線日比谷線上野駅下車
西郷隆盛像から徒歩 5 分

3. 会 費 10,000 円 (当日受付にて申し受けます)
女子会員は 5,000 円とします。

4. 総 会 午後 3 時~午後 3 時 30 分

5. 講演会 午後 3 時 30~午後 5 時 00 分
演題「活断層と地震の科学」
講師 宮下 由香里氏
独立行政法人 産業技術総合研究所
活断層地震研究センター
講師略歴等は下記をご覧ください。

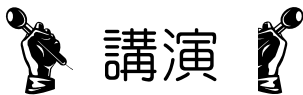
6. 懇親会 午後 5 時 10 分~7 時 10 分ごろまで

7. 写真展 総会の会場内に展示します。(一般会員の方からの出展を歓迎します。陳列の都合上
事前に連絡窓口(20 ページ参照)の三好成實まで電話又はメールで連絡下さい。)

8. お願い 出欠のご返事は 9 月 20 日 (木) までに同封のハガキにてお願いします。
また、出欠にかかわらず、お手数でも同封の振込用紙にて、年会費 2,000 円を
お振込みくださるようお願い申し上げます。

9. お問い合わせ先

小澤 茂 (昭 43 卒) TEL : 045-861-2593



講演

「活断層と地震の科学」

講師：宮下 由香里 主任研究員 博士 (理学)

独立行政法人 産業技術総合研究所 活断層・地震研究センター
活断層評価研究チーム

専門・研究分野：地質学、古地震学、

活断層の活動履歴の解明と活動性評価手法の開発。

これまでに調査した活断層：

関谷断層 (栃木県)、牛首断層帯 (富山・岐阜県)、立川断層帯 (東京都)、警固断層帯 (福岡県)、岩国断層帯 (山口県) など

講演概要

1. 地震と活断層の基礎的解説。
2. 活断層の研究とは。地震の予知、防災
3. 立川断層の調査状況。
4. その他

関東地域の会員各位は、第一級の専門家から地震に関する話を聴くことにより、防災対策の一助になると考えます。

ご参集いただきますようお願いしています。



講師略歴：

1996 年 大阪市立大学大学院理学研究科
後期博士課程 地球学専攻 修了
学位：博士 (理学)

1996 年 4 月~1997 年 3 月 愛媛大学理学部
生物地球圏科学科 研究生

1997 年 4 月 工業技術院地質調査所勤務
地質部ポスドク研究員

1999 年 7 月 同地震地質部活断層研究室へ就職

2001 年 4 月 中央省庁再編に伴い現組織 (産業技術総合研究所) へ

第31回東京支部同窓の集い

昨年度から従来の呼称「総会」を上記のように「同窓の集い」と変更いたしました。

総合司会 小澤 茂（昭43 学子）
平成23年度多賀工業会同窓の集いと合同で、6月25日（土）15時から19時まで、上野精養軒で開催されました。

友田陽工学部長、寺門龍一本部顧問（昭25 専電）をはじめ、木曾正明本部長（昭29 学電）ら理事会メンバーが集合し、総会、ギター演奏会又は懇親会のいずれかに出席した方の総数は126名となりました。同窓の集い関連の写真がこのページの他に1頁、26頁（表紙及び裏表紙の裏面）にカラー版で掲載しています。

第1部 総会（15時10分～15時45分）

三本木 武（昭30 学電）支部長挨拶で支部長交代が発表され、本部の臼井敏雄（昭40 学電）新会長の来賓祝辞に続いて年間行事、同好会活動報告および会計報告等が行われ、次期支部長に選任された上月秀俊（昭36 学機）氏の挨拶がありました。尚、三本木支部長及び上月次期支部長の挨拶は昨年の会報第14号にて既報のため、5頁に上月秀俊新支部長のご挨拶と同窓の集い出席者名簿を掲載しました。



三本木支部長挨拶



臼井本部長祝辞

第2部 ギター演奏会（15時55分～17時05分）

大好評だった「ギターで綴る世界の名曲」は、下段をご覧ください。

第3部 懇親会（17時10分～19時15分）

3階桐の間に来賓の方々、他、他支部所属の方々も含め118名の方々を年代毎に区切った11卓を囲み、近江義勝（昭28 学電）本部副会長の乾杯が済むと、被災地から取り寄せた日本酒が紹介され、楽しく賑やかな懇親会に入りました。校歌斉唱では橋弘（昭38 学電）氏のクラリネットに村松氏のギター伴奏が加わり、全員の大合唱となって大いに盛り上がりました。

写真展

写真部の協力で恒例の写真展が2階藤の間の壁面を飾りました。今回は玉川信二（昭28 学電）氏の仏像彫刻と、村松泰弘氏の水彩画4点と沢山のスケッチブックが展示され、参加者の賞賛を集め、美術展への変貌が見えました。



村松氏がスケッチブックを解説中

ギターで綴る世界の名曲

演奏者 村松泰弘（昭44 学機）氏

報告者 石川 久（昭44 学子）

司会者の奏者紹介で村松氏が入場し「アランプラの思ひ出」がトレモロ奏法でスタートしました。そして二曲目、三曲目と聞き覚えのある名曲に会場も緊張も徐々に解かれて、奏者のにこやかな静かな語りかけの中でプログラムが進行していきました。



映画音楽の「禁じられた遊び」になると「この映画は白黒だったんですよ、あとで映画を見に行っただんですがびっくりしました。今思うと懐かしい昔です。」とか当時を振り返るエピソードが紹介され、会場の皆さんも昔の思いを追憶し始めたようでした。奏でるギターの音色に魅せられ、徐々

に熱気を帯びてきましたし、曲を弾き終わったときの拍手も心持ち大きくなりました。奏者も会場の雰囲気に合わせて着ていた上着を脱いで気持ちを入れ替えいっそう熱のこもる演奏体勢に。そして、最近では老人ホームやデイケアセンターを訪問して数曲を演奏する機会が増え、ご老人に喜ばれているなどの話も披露されました。

クラシックギター名曲から3曲、映画音楽から3曲、世界の名曲からは「帰れソレント」などイタリアカンツォーネが弾かれました。学生時代は海外に行くのは高嶺の花だったけれど今は簡単に行けてしまい、よい時代になったものだと述懐。そしてポピュラー名曲から2曲、懐メロから2曲「湯の町エレジー」と「別れの一本杉」が弾かれ、あっという間に時間が経過していました。

また、演奏に感動し小椋佳の名曲を思い出したので「小椋佳の曲を弾いてほしい」とのリクエストが出されました。が、皆様にお聞かせするという立場から奏者が事前に準備してきた「また君に恋している」（ビリーバンバン作曲 歌 坂本冬美）と東日本大震災で被災された方々に勇気を与えたいとの思いで奏者が意識的に選出した曲として「アベマリア」（カッチーニ作曲）の二曲を演奏して終了しました。

支部長ご挨拶

支部長 上月 秀俊 (昭36学機)

多賀工業会東京支部の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

昨年、東日本大震災・福島原子力発電所事故から1年余が経過しましたが、この未曾有の災害は様々な問題と強い絆が求められその大切さも浮き彫りにし、人と社会を再考する契機にもなりました。昨年、一字漢字が「絆」で表された様に、多賀工業会の多くの方々からも母校の震災復興への支援に惜しみなき協力を戴き、同窓の方々との強い絆を再認識出来て心強く感じております。

今年、復興へと突き進む期待の年です。支部活動としても若手同窓の方々への参加増進へ、同好会の更なる増設へ、そして将来の同窓生となる学生への支援活動に積極的に取り組む年にし、更には団塊の世代の方々があと2~3年で65歳を過ぎますので、多くの方々



が支部活動に関心を持たれ参加される機会を準備したいと思っています。そして今までの活動から一歩前進へ変化をさせたいと念じております。年初より大揺れがあり、首都直下型地震・中南海連動地震・立川断層地震の新たな予測が発表されて、南関東地域在住の方々には不安増大ですが「備えあれば憂いなし」で前向きに備えたいと思っております。

今年の「同窓の集い」の講演会演題について若手の方々には「スカイツリーの話—鋼構造の最新技術」の話題についての希望もございましたが、前記事情もあり大方の方々へ支持された経産省出先機関の産業技術総合研究所出前講座「活断層と地震の科学」をお願いする事に致しました。第一級の専門家から話を聴く機会が南関東地域の住人としての会員諸兄にとって、防災対策再構築・再確認の更なる一助になれば幸いです。是非ともこの機会に今年の「同窓の集い」にご参集戴きます様お願い申し上げます。

支部活動は主に母校の「こうがく祭」参加・支部「同窓の集い」「同好会」「他支部との交流」を通じ相互に種々の情報交換・趣味趣向の幅や技術の向上・活動範囲の拡大を計り楽しい生活へ繋がる事を期待しており、皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

同窓の集い出席者名簿

<来賓> 21名

| | |
|-------|-------------------|
| 友田 陽 | 茨城大学工学部 工学部長 |
| 寺門 龍一 | 多賀工業会 顧問 (昭25専電) |
| 木曾 正明 | 多賀工業会 顧問 (昭29学電) |
| 臼井 敏雄 | 多賀工業会 会長 (昭40学電) |
| 伊東 速水 | 多賀工業会 副会長 (昭37学化) |
| 舛井 正義 | 多賀工業会 副会長 (昭37学電) |
| 小林 正典 | 多賀工業会 幹事長 (昭45学電) |
| 池畑 隆 | 多賀工業会 理事 (昭52学子) |
| 清水 淳 | 多賀工業会 理事 (平4学電) |

<会員> 97名

| | |
|---------------|---------------|
| 柄本 二郎 (昭19専原) | 上月 秀俊 (昭36学機) |
| 藤田 勲 (昭19専原) | 真下 知行 (昭36学機) |
| 友保 伊弘 (昭20専原) | 小宅 仁 (昭36学電) |
| 工藤 恒雄 (昭20専原) | 鈴江 芳雄 (昭36学金) |
| 栗原恵治郎 (昭22専機) | 高田 勲 (昭37学機) |
| 幸道 貞一 (昭22専通) | 小林 一 (昭38学機) |
| 飯島 公正 (昭23専原) | 駒場 方耀 (昭38学機) |
| 海老原 和 (昭24専通) | 豊田 元雄 (昭38学機) |
| 菊地 玲二 (昭26専通) | 中村 好秀 (昭38学機) |
| 高田 丈夫 (昭28学機) | 長谷川幸夫 (昭38学機) |
| 斎田 和夫 (昭28学機) | 徳江 景英 (昭38学機) |
| 近江 義勝 (昭28学電) | 大竹 充 (昭38学電) |
| 玉川 信二 (昭28学電) | 兼子 八郎 (昭38学電) |
| 檜山 邦良 (昭30学機) | 小林 渡 (昭38学電) |
| 鈴木日出男 (昭30学原) | 田川 政行 (昭38学電) |
| 小室 敏之 (昭30学電) | 新沼 厚生 (昭38学電) |
| 三本木 武 (昭30学金) | 橋本 政巳 (昭38学電) |
| 山崎慎一郎 (昭31学原) | 熊谷 文男 (昭38学電) |
| 舛井 祝男 (昭32学原) | 綿引 貞男 (昭38学電) |
| 矢野 睦男 (昭32学原) | 坂野 栄 (昭38学電) |
| 田崎 耕八 (昭32学電) | 橘 弘 (昭38学電) |
| 渡辺 英雄 (昭32学電) | 広瀬 行一 (昭38学電) |
| 島田 直彦 (昭33学電) | 海老原雄二 (昭38学金) |
| 荒川 靖 (昭33学金) | 大塚 進 (昭38学化) |
| | 高木 二郎 (昭38学化) |

| | |
|-------|--------------------|
| 大和田武義 | 千葉県支部 支部長 (昭32学電) |
| 高橋 昌之 | 関西支部 支部長 (昭44学精) |
| 上田 正雄 | 埼玉支部 支部長 (昭37学電) |
| 内山 岩男 | 水戸勝田支部 支部長 (昭30学電) |
| 寒風澤 武 | 静岡支部 支部長 (昭41学機) |
| 秋山 光庸 | 栃木支部会 支部長 (昭34学原) |
| 佐藤 博 | いわき支部 支部長 (昭33学電) |
| 渡部 晃 | 仙台支部 支部長 (昭39学電) |
| 根本 弘 | 中部支部 支部長 (昭38学金) |
| 宗像 智次 | 九州支部 幹事長 (昭39学機) |
| 磯崎 公郎 | 日立総合支部 支部長 (昭34学原) |
| 今村 好男 | 多賀工業会 事務長 (昭41学電) |

| | |
|---------------|-----------------------------|
| 矢部 功一 (昭38学化) | 石川 久 (昭44学子) |
| 磯部 亮 (昭38学精) | 笹島 晃 (昭44学子) |
| 黒羽 昇 (昭38学精) | 吉田 真吾 (昭44学子) |
| 矢嶋 國男 (昭38学精) | 日置 和夫 (昭44学精) |
| 橋本 亮蔵 (昭39学電) | 中島 忠男 (昭45学機) |
| 原 俊彦 (昭39学電) | 宇塚 光男 (昭45学電) |
| 金井 昭雄 (昭39短機) | 小滝麟太郎 (昭45学電) |
| 佐藤 道夫 (昭40学機) | 藤枝 伸一 (昭45学子) |
| 田中栄太郎 (昭40学化) | 飯塚 英一 (昭46学電) |
| 大泉 雅靖 (昭40学精) | 西岡 周二 (昭47学機) |
| 寺 紘一 (昭40学精) | 五十嵐喜良 (昭47学子) |
| 青野 潔 (昭41学化) | 渡邊 和夫 (昭48学電) |
| 岡本 実 (昭41学化) | 細矢 徹夫 (昭48学子) |
| 小沼 淳志 (昭41学化) | 鈴木 誠一 (昭48学精) |
| 弥勒 友道 (昭41学化) | 相川 哲男 (昭50院精) |
| 小森 廣樹 (昭42学機) | 加藤 清 (昭50院精) |
| 森田 徹郎 (昭42学電) | 若菜 泰 (昭51学子) |
| 下ノ村 勇 (昭42学精) | 丸島 國義 (昭55院電) |
| 藤沼 隆夫 (昭43学機) | 二川 克美 (昭63院情) |
| 村田 瑞穂 (昭43学電) | 岡田 涉 (平02学機) |
| 小澤 茂 (昭43学子) | 小倉 宏一 (平08院情) |
| 梅田 毅明 (昭44学電) | 東 學 (平08院生) |
| 緑川 晃 (昭44学電) | 山本 夏江 (平10学機) |
| 村松 泰弘 (昭44学電) | (東京支部以外の支部からの出席会員をも含んでいます。) |
| 五十嵐幸治 (昭44学子) | |

平成23年度多賀工業会東京支部会計報告

収入の部

平成23年4月1日～平成24年3月31日

(単位：円)

| 費目 | 23年度予算 | 実績 | 予算比 | 摘要 |
|---------|-----------|-----------|---------|------------------|
| 年会費 | 600,000 | 544,000 | -56,000 | 172名272口 |
| 本部援助金 | 214,500 | 214,500 | 0 | 毎年3%減 |
| 同窓の集い会費 | 1,100,000 | 1,247,144 | 147,144 | 111名+工学部長祝儀+本部合同 |
| 広告料 | 60,000 | 30,000 | -30,000 | 2件 |
| 寄付・利息 | - | 118,655 | 118,655 | 12名 |
| 収入の部計 | 1,974,500 | 2,154,299 | 179,799 | |
| 前年度繰越金 | 999,694 | 999,694 | 0 | |
| 合計 | 2,974,194 | 3,153,993 | 179,799 | |

支出の部

| | | | | |
|--------------|-----------|-----------|----------|---------------------------------------------|
| 同窓の集い会費 | 1,100,000 | 1,165,536 | 65,536 | |
| 会場・懇親会費 | | 951,242 | | |
| その他諸費用 | | 214,294 | | |
| 会報費 | 600,000 | 477,419 | -122,581 | |
| 会報諸印刷費 | | 310,000 | | 1,300部発行 |
| 会報配送費 | | 94,420 | | |
| 編集雑費 | | 72,999 | | |
| 会議費 | 100,000 | 63,786 | -36,214 | 定例幹事会4回 |
| 交通費 | 180,000 | 116,530 | -63,470 | |
| 本部・支部総会参加交通費 | | 60,950 | | |
| 一般交通費 | | 55,580 | | |
| 交流費 | 300,000 | 202,525 | -97,475 | |
| 本部・支部総会参加会費 | | 90,000 | | |
| 同好会援助 | | 100,000 | | |
| 雑費 | | 12,525 | | |
| 支出の部計 | 2,280,000 | 2,025,796 | -254,204 | |
| 次年度への繰越金 | 694,194 | 1,128,197 | 434,003 | 三菱UFJ銀¥1,070,660. ゆうちょ銀¥38,504 現金¥19,033 |
| 合計 | 2,974,194 | 3,153,993 | 179,799 | |

以上の通り報告致します。

会計幹事

森田 徹郎

㊟

平成24年 4月 9日

監査の結果上記に相違ないことを認めます。

監事

小林 一

㊟

平成24年 4月 9日

監事

田中 栄太郎

㊟

平成24年度多賀工業会東京支部予算

収入の部

平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位：円)

| 費目 | 24年度予算 | 前年実績比 | 摘要 |
|---------|-----------|----------|-----------------------|
| 年会費 | 601,600 | 57,600 | 年会費(2,000-120)×320名目標 |
| 本部援助金 | 210,000 | -4,500 | 毎年3%減 |
| 同窓の集い会費 | 1,000,000 | -247,144 | 会費10,000×100名目標 |
| 広告料 | 45,000 | 15,000 | 3件目標 |
| 寄付・利息 | - | -118,655 | |
| 収入の部計 | 1,974,500 | -179,799 | |
| 前年度繰越金 | 1,128,197 | 128,503 | |
| 合計 | 3,102,697 | -51,296 | |

支出の部

| | | | |
|----------|-----------|----------|-------------------|
| 同窓の集い会費 | 960,000 | -205,536 | |
| 会報費 | 600,000 | 122,581 | A4版28頁；1,300部印刷 |
| 会議費 | 100,000 | 36,214 | |
| 交通費 | 180,000 | 63,470 | 10支部総会へ参加 |
| 交流費 | 300,000 | 97,475 | 同上・4同好会援助費+女子部援助費 |
| 支出の部計 | 2,140,000 | 114,204 | |
| 次年度への繰越金 | 962,697 | -165,500 | |
| 合計 | 3,102,697 | -51,296 | |

祝 詠進歌入選 いわきより北へと向かふ日を待ちて常磐線は海岸を行く

寺門龍一（昭 25 専電）本部顧問

2012 年 1 月 12 日（木）朝日新聞（夕刊）記事

「常磐線が仙台まで復旧すれば、原発事故から脱却した、安心で安全な日も来るだろう」。茨城県の寺門龍一さんが、入選歌に込めた願いだ。

寺門さんは、東海村在住の茨城大学名誉教授（工学）。大学を退職後、福島県いわき市にある福島高専の校長を 8 年間務めた。

車窓から眺めた、穏やかに美しい海岸。通学・通勤客が交わす、なにげないひとことを、懐かしく思い出すという。その常磐線は、東日本大震災による津波や東京電

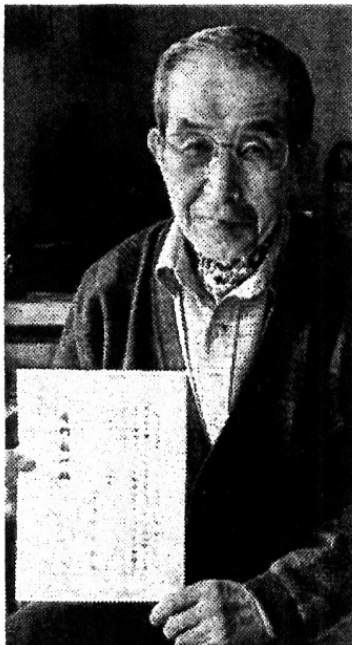
東北へ走る列車 待ち遠しく

力福島第一原発の事故による影響で、いまも一部区間が不通のままだ。

自身も震災では、東海村の自宅

屋根が壊れたり、本棚が倒れたりした。深い悲しみに包まれた年に、深んだ歌を受けた榮譽に、感慨は深い。「私と同じように考える人も多いでしょう。そんな共通の思いが選者の方にも伝わったのでは」

茨城・東海村 寺門さん



歌会始の案内状を手にする寺門龍一さん＝茨城県東海村

昨年暮 12/26 に級友の広瀬行一さんから電話で、橋弘さんと後藤紀夫さんから E メールで

「朝の NHK ニュースで寺門先生が詠進歌で入選されたことが報じられた」と、連絡がありました。メール文面には「画像はあまり鮮明ではなかったが、首を振っている様子などから先生に間違いはない」などの文言もありました。

年初の 1 月 4 日には読売新聞茨城版に掲載された記事を広瀬さんが FAX してくれました。

その記事によれば「1985 年に初めて応募し、以来 27 回目にして念願がかなった。」そうです。

ネットでは、先生が大学へ勤務される前の茨城県立太田第二高等学校での教え子（小泉澄子さん）が ☆歌会始寺門先生入選す高校三年間の学級担任 ☆先生の頭振る癖も見るテレビニュース歌会始入選の快び

などと詠んでいました。



1 月 12 日 宮内庁講堂にて 記者会見
左端が先生

*1 頁（表紙裏）に関連記事（写真）があります。

会報編集室 兼子 八郎（昭 38 学電）

おめでとう
ございます

春の叙勲受章

◎ 瑞宝小綬章 山崎 慎一郎（昭 31 学原）

東京工業高等専門学校名誉教授（熱工学）

東京支部では幹事と会報編集室員を務めています。幹事長時代の H17 年総会で「地震の話～耐震構造からみて～」の演題で講演予定されていた前支部長の渡辺益男（昭 19 専精）氏が体調不良になられたため急遽、代役として、「熱エネルギーの話 地熱発電所」の演題で講演されました。

山遊会や写真同好会、囲碁同好会などにも熱心に

参加して同窓会活動の盛り上げに精力的です。

川越市喜多院で撮影した写真「小江戸の空」が 2008 年の支部会報（第 11 号）の表紙を飾りました。

後輩の指導育成と併せて今後のご活躍を期待しています。

◎ 瑞宝中綬章 小波 俊文朗（昭 36 学機）

防衛大学校名誉教授（油圧制御）
工学博士

昨年の支部会報（第 14 号）に寄稿（残軀妄言）して頂きました。囲碁同好会に加入し、同窓会活動にも力が入り始めた模様です。

今後のご活躍を期待しています。

卒業して六十余年

平木 康一（昭 24 専精）

§ 初めに

三本木前支部長からの突然の電話、「支部会報に一筆書いて欲しい。」との事。急な電話に、深く考えずに返事をしてしまい、反省している次第ですが、老人のざれ言とお読み下さい。



§ 終戦直前の戦災と終戦

1944年（昭和19年）11月の東京空襲以降、全国各地で米軍による空爆が実施され、北茨城地区でも1945年（昭和20年）に

- ① 6月10日：日立工場に10トン爆弾攻撃
- ② 7月17～18日：常磐線沿線（水戸～高萩）艦砲射撃
- ③ 7月19～20日：日立市市街地焼夷弾攻撃

§ 終戦～中学卒業～多賀工專入学

動員先の日立工場は爆弾攻撃により休業。我々中学生動員学徒は学校に登校、前記攻撃により被災した校内の片付け整理や市街地の片付け等に動員されその合間に授業を受けたと記憶している。

又、特例扱いとして4年終了繰り上げ受験が認められたので、多賀工專を受験し合格。進学する事とし、1949年（昭和24年）3月には工專を卒業した。

§ 多賀工專での学生生活

- ① 何故多賀工專を選んだのか
◇終戦後の混乱期であり、親元から通学出来、お互いに安心出来る。
□5人兄弟の長男であり、早い独り立ちを目指した。
- ②入学して体験した事
◇精密機械科の新入生は32名で、通学条件で分けると

| | |
|--------|----------|
| 吼洋寮生 | ： 16名 |
| 下宿生 | ： 1名 |
| 列車通学生 | ： 14名 |
| 自転車通学生 | ： 1名（筆者） |

で、自然な成り行きで小生が級内庶務を引き受ける事になった。

◇授業は前記の艦砲射撃の弾痕の残っている教室で行われ、初めて聞く専門学科、実験、実習等に眼を輝かした。

◇クラスメートはすべて新しい友人であり、放課後の団欒、寮生との交流等々、制約の無い自由な体験を楽しんだ。

◇クラス内のレクリエーション活動も活発

で、近郊のハイキング（五浦海岸、袋田の滝等々）室内ゲーム（麻雀、カード等）は盛んに行い、学生の自由な特権を満喫した。
◇3年次秋の運動会は最終種目の科対抗リレーで常勝の金属を48:47の1点差で破り優勝した事は忘れられない。

§ 卒業してからの同期会

- ① 卒業時に今後も時々同期会をやろうと話し合い、第1回を“徳江先生の叙勲祝”を兼ねて一泊懇親会を実施し、その後“ガタ懇”と称して数回実施したが、先細りになってきた。



第1回クラス会
最前列左から2人目が徳江先生、
筆者は後列左から2人目

- ② 現在は年2回程度の休日日帰りに切り換え、昼食コンパを実施している。



ガタ懇コンパ
左からく石上博幹事長（本年3月死去）、宇野兵之衛門、永井辰雄、筆者（幹事）、高山恒男、鳥山尚利、横尾英夫>

§ 終りに

同期生は良いものだ。何時、何処で会っても直ぐに打ち解けて話が出来る。そんな関係を作り上げ持続させる弛まない努力も必要だ。

筆者プロフィール

1949年3月 多賀工專精密機械科卒業

- 4月（株）日立製作所入社、栃木工場へ配属
- ・冷蔵庫、ルームエアコンの生産技術担当
- ・海外技術移転指導担当

1992年（株）日立製作所退職し、（社）日本セカンドライフ協会運営委員として現在に至る。

諸国雑感

金子 民生 (昭 43 学子)

早いもので、母校を卒業して 43 年、既に 2 度目の定年を迎えた。伝え聞けば、ウサギが駆け回っていた校内もビルが林立し、また屋外の弓道場も立派に様変わりの由、結構と思う反面、日光浴をしながらの弓道修行も懐かしく思われる。さて、卒業の年は、全てがこれからという時期、東京でのオリンピックも数年前に開催され、カラーテレビも徐々に普及し始めていた。お陰で求人も多く、自分も当時は二流企業の電機メーカーに潜り込めた。そこでかれこれ十数年、運良く入った会社は、世間並みに徐々に大きくなり、海外に工場を進出させつつあった。米国をはじめ、中国、マレーシア、スペイン、ブラジル、インドネシアなど合弁、技術提携などで周りの人がどんどん出て行き、私にも声がかかった。

初めていった中国は、市場経済へ向けた改革開放がスタートしたばかりで、いくつかの合弁会社の技術指導をした。上海をはじめ、無錫、広州、雲南、内蒙古など、ホテルの庭に小さなバナナの採れる南から、氷結した川の上を馬車がわたる風景も見られる北の旅をした。中国は広い！ 以前は高速もなく上海から無錫へ行くにもタクシーだった。砂利道を 80km/h 以上で飛ばし、夏はエアコンなし、冬は眠気覚ましに窓を開けて走るから生きた心地はしない。中国人は、最初とはつつきにくい、一旦話がまとまり、信用してもらえればすぐ乾杯で、その後はお友達になれ、暫くはクリスマスカードまで貰った。また中小の工場へ行き商売の話をする、社長が出てきて技術、経理、品質、在庫管理の話など全てを一人で受け答え、細かい数字もポンポン出てきて中国の経営者は大したものだと感心したものである。

そうこうしているうちに、スペイン工場が立ち上がり、駐在員として派遣されることになった。スペイン語はもちろん英語もろくに話せないのに、大丈夫かと心配だったが、一方ではタダで海外経験ができるとの思いがあり、思い切って家族帯同で行った。飛行機からみたバルセロナは、碁盤の目のように綺麗に区画され、砂浜と防風林が続く大変すばらしい景色に魅了された。春先で日差しは強く、5 月ごろからはアパートのプールで子供が泳ぎ、また木陰ではその適度な気温と海からのそよ風で、ついつい眠気を誘われ居眠りするには最適などころであった。



<スペインのアパート>

スペインの国土は日本の 3 倍、人口は日本の 1/3 で、夏でもスキーのできる高い山もあり白い砂浜も多く、コバルトブルーの地中海によく映え、ヨーロッパのリゾート地としてドイツ人などがバカンスを過ごす。特に夏休みが長く、1 か月は休む。

駐在員も同じという訳にはいかないが 2 週間あり、バルセロナからは陸路でつながるヨーロッパ観光には最適。出張も多く、ドイツ、イタリア、オランダ、オーストリア、スウェーデン、ギリシャなど多くの国を訪れる機会を得たのは大きなメリットだった。スペイン人は働かないと言われていたが、彼らは契約通りに働いていて、日本人のようにサービス残業はしない。ある時工場で問題が起き、夜遅くまで対応していたが、ふと気がつくとスペイン人の技術者は皆帰ってしまっていて誰もおらず、日本人だけになっていた。翌日現地人責任者にこの旨伝え、次からはきちんと残ってくれるようになり、スペイン人もやるときはやると思った。ただ、時間にはルーズで夜が遅い。夜 9 時から始まる宴会は遅れて始まり 2 時過ぎまで飲みかつ食う。

一方、仕事で残業した夜 1 時ごろでもレストランが開いていて食事ができるのは、便利というか・・・。

スペインからやっとの思いで帰国後、数年でまた、アメリカ駐在の話、ヨーロッパ経験後だから開発途上国よりはましと、アメリカも OK してしまった。

デトロイト乗換メンフィス空港着。着いてみれば何も無い！。街中の家や店が平屋、せいぜい二階までで、家と家、店と店の間が大きく離れている。10 階建のアパートが隣接しているバルセロナの状況とは全く異なりさすがアメリカ南部の感じ。冬はマイナス 10 度、夏は 40 度と、バルセロナと比べるとえらい違いだ。

しかしながら購入した家は全館冷暖房で、冬は二階の大型ガス暖房機 2 台がうなりをあげ、夏は大型の冷房室外機 2 台がうなりを上げ快適な環境へと変えてく



<アメリカの家>

れた。家の外は 500 坪の芝生で、夏場は最低隔週一回は手入れが必要のため、休みはなくなる。しかしながらどうにもならないこともある。時に空襲警報のようなサイレンが鳴る。トルネード警報だ。メンフィスはトルネードの通り道で、TV のウエザーチャンネルで見るとアーカンソー州からドップラーレーダーに映った影が次々と上がってくる。地下室のない家は、家の中で奥まった、多少頑丈なトイレに隠れる。交通も不便。どこへ行くにも遠いので、車で出かける。買い物用と通勤用、車は 2 台が必需品。バスは予約が必要で、どこでも止まってくれるそうで、いかにもアメリカの低所得者向けサービスである。アメリカ人は仕事が早い。無駄がない。あまり上司などに余計な気配りをせず、ずけずけものを言うので、結論が早くなるのかも知れない。上下関係ははっきりしていて、意見がぶつかれば最後は上司の意見に従うことが多いようだ。

海外へ出れば確かに苦しい時もあるが、振り返れば楽しいことのほうが思い出に残る。若い人には、ぜひ国内にこもらず海外へ出ていろいろな経験を楽しんでもらいたいと考える。

クラウドは道楽？

伊藤 琢巳 (平1 院情)

クラウドという言葉が業界ではやりだして2、3年経つ。例えば、youtubeのような動画再生サイトもクラウドサービスだ。ユーザは、インターネットの雲(クラウド)にある動画データを手元のパソコン(PC)などで再生する。つまり、データ(動画)は手元に置かず必要な時に、ネットワークを通じてデータを手に入れ、利用するのが典型的なクラウドサービスのスタイルだ。端末はPCだけでなくスマートフォンやタブレットなども流行っている。



個人の携帯電話として数年前からiPhoneを使っている。電話として使うというより、Twitter や Face Bookなどに、文字だけでなく写真や動画をアップロードするといったことも当たりまえ。移動する際には地図とGPSでナビゲーションシステム代わりとして、暇な時にはゲームも楽しめるので、個人的には手放せないツールであり、スマートフォンがこれだけはやるのも良くわかる気がする。

クラウドという言葉逆さから読むと「どうらく = (道楽)」となる。僕たちはまさに、クラウド環境でいろいろな道楽を享受しつつあるようだ。このクラウド環境、どのような要素で構成されているのだろうか？

例えば、音楽。LPレコードを、128kbps(1秒間に128Kビット)でMP3といった形式に変換すると、だいたい50メガバイト(MB)くらいになるだろう。僕が30年前、最初使ったPC(当時はマイコン)はメインメモリが16キロバイト(KB)。ビットに直すと128キロビット！でなんとMP3に変換した曲は1秒分しか記録できないことになる。

大学に入るとPC9801といったパソコンにフロッピーディスクがついていた。容量は1MB。当時はこの広大な空間をどうやったら全部使えるのだろうか？とっていたが、MP3の曲にすると64秒！。たった1分しか再生できない計算である。音楽データをMP3の用な形式で保存するという事は1990年頃には考えられないことだったはずだ。1995年以降WindowsとPC/AT互換機が普及してきたが、MP3で本格的に変換を書けられるようになったのは1997年以降のことだと記憶している。そして2012年の今、僕の胸にぶら下がっている携帯プレーヤの容量は8GB。アルバムにして150枚くらいのデータが数十gの大きさに収まってしまっているのだ。

もちろんデータ量だけでなく、それを変換/再生するためにはCPUパワーが必要だ。今でこそ、数分でアルバム一枚を変換することができるが、ほんの10年くらい前にはアルバム再生するのと同じ位の時間がかかっていた。CPUパワーも記憶領域と同じ位、クラウド環境の普及に寄与している。

携帯端末やコンピュータの進歩より重要な要素といえるのがネットワークだ。1990年頃、電話回線を使ったデータ通信速度は理論値で一秒間に2400ビット程度。ISDNでも64/128Kビット。これでは、動画再生どころかMP3の楽曲をリアルタイムに再生することなど考えられない。

2000年以降に普及してきたADSL、そして光ケーブルによって、ようやく僕らはデータを手元に置きっぱなしにせず、必要な時にデータを取得することが出来る環境を手に入れることができた。無線(携帯電話)通信もここ数年で環境が大きく変化した。1990年代のPHSによる通信とは比較にならない！！最近のLTE対応端末では、実用上、有線LANとさほど変わらない通信環境となっている(理論値75MBPS)。

インターネット黎明期、バックボーンの帯域が100MBPS程度で地方都市との接続は10MBPS程度だった。今では自宅に光回線が当たり前で接続速度も100MBPSクラスとなっている。OSのようなデータの大きなソフトウェアなどもCDメディアではなくダウンロードで買うことができるほどのネットワーク環境こそが手軽に情報をやりとりできるバックボーン、主役なのだ。

クラウド環境を提供する側も多く変わっている。数百台数千台のコンピュータをネットワーク接続し分散処理を行うことで、多くのユーザに動画やゲームなどのサービスを提供している。クラウドを提供する側は、膨大な数のコンピュータと記憶装置をネットワークでつなぎ、まさに雲のような存在なのだ。

CPU/記憶装置/ネットワークの3つが揃って進歩してきたことにより、クラウドという環境を僕らが道楽で使うことができるように成ってきた。今、携帯端末で動画再生を行うことができる環境、これからさらに10年、20年先にどのように変化していて、僕たちはどのようなデバイスを手に、何をしているのだろうか？

著者プロフィール

1989年 NTT 入社

1997年 NTTPC コミュニケーションズ

インターネットの黎明期からクラウドの時代まで、インターネットやサーバといったサービスの提供を行う。

2012年 NTT コミュニケーションズ
クラウドサービスの構築/提供

仕事・家庭のバランス

鈴木 葉子 (昭 62 学化)

2010 年に多賀工業会東京支部内に女子卒業生の交流の場を作るお話をいただきました。私はそのとき、自宅近くのタオル工場で週 4 日働く、パートの仕事を始めて 1 年たったころでした。工学部とはあまり関係のない職に就いているので、同窓会に出席する気にはなれませんでした。しかし、支部役員の方の熱心なお声がけのお陰で同窓会に出席すると、3 人の女子卒業生のお話で大変刺激を受けました。今回、勇気をだして、私のこれまでの生活について書かせていただきます。

◇ 大学時代

私は英語や海外に興味がありましたので、英語サークル ESS に入りました。1 年時は、他学部の学生とディベートやディスカッション、スピーチ、ドラマなどを体験しました。ESS メンバーとの交流が続き英語に触れていたもので、3 年時に姉妹都市の交換留学生として米国へ留学させていただきました。

♣ 私の就職

大学卒業後、電気メカの設計に勤務。やりがいがある仕事でありましたが、3 年半ほどで結婚のため転居することにし退職。転居先に、元の会社の工場が偶然あったことや、バブル経済の時代で、転居後 1 ヶ月ほどで関連会社へ再就職。新たな仕事に少し慣れてきたころ、所属の事業部がさらに郊外の他県へ事務所を移転することに。夫の仕事の関係で転居できないと考え、無理に隣の事業部へ転属願いをしました。幸運にも願いがかない、元の会社の工場内在勤で勤務しました。

勤務地を優先したことで、仕事の内容が設計から工場の生産技術にかわりました。24 時間操業の半導体工場で、生産過程の検査装置を管理する仕事を 16 年続けました。プレッシャーの多い仕事で不器用な私には荷が重かったのですが、勤務先の方々の協力があったから続けられたと、皆様には感謝しています。

♡ 出産・子育て

私は仕事が忙しかったこともあり、遅く出産した方だと思います。娘は今、高校生です。自分の会社では当時、出産後に働き続けている女性は、ほとんどいませんでした。ただ、在勤していた工場では私より先輩の女性エンジニアが保育園にお子さんを預けて勤務していました。核家族で両親は他県に住んでいるので、この仕事で働き続けら

れるのか不安でしたが、育児休職制度を使うことにしました。まず、産休前に同じ市内に住まれている先輩に、保育園のことを教えてもらうことから始めました。赤ちゃんを預けるのはかわいそうだと思いますが、新年度から保育園に預けたほうが、確実に入所できると知っていたので、6 ヶ月から保育園に預けて職場復帰しました。復帰しても、子供の急な病気や病院通いが多く、毎日保育園のお迎えも延長時間ぎりぎりになり、綱渡りの生活でした。小学校入学前までに子供が 2 度大病を患ったときや、仕事で遅くなるのが前もってわかっているときは、母に家に泊まりで来てもらい、しのいでいました。小学生になってからは、3 年生まで夏休みもほぼ毎日、学童保育に通わせました。その当時、学童保育は延長保育がなかったため、時間までに迎えに行くのに苦労しました。

そのとき、市にファミリーサポートセンターが発足し、有料で学童保育のお迎えや自宅で保育を頼めるようになり、頻繁に利用しました。4 年生からは学童がなくなり、習い事に通わせました。

♣ 米国での生活

このように家族全員で苦労して続けていた生活は、夫の米国赴任に帯同することにより、変わりました。私の会社には、配偶者の赴任時の休職制度がなく、育児が理由の再就職制度で登録するか迷いましたが、6 年生までに帰国できないと考え登録しませんでした。自己都合で退職しました。

子供にとっては、英語ができないので最初のうち学校へ行くのが苦痛だったのですが、私は留学時とはまた違い子供の学校を通して米国生活を楽しまれました。現地校には、ESL と呼ばれる外国からきた子供向けに英語を教えるクラスがあり、楽しみながら学べるシステムに感心しました。私たちが住んだシアトルは外国からの駐在員の家族が多く住む場所で、住民も外国人慣れしており気さくに話しかけてくださり近所の方と仲良くなりました。夫の会社の現地スタッフとも家族ぐるみでホームパーティに誘い合い、生活のことまで親切に心配して下さったお陰で、快適な毎日が過ぎました。帰国して 3 年になりますが、友情を絶やさないように、連絡を取っていきたく考えています。

♡ 後輩の皆様へ

女性が一生働くには仕事と家庭のバランスが大事であると思います。特に正社員の場合、学卒の男性と同等に働くことになり、家庭があると気力・体力ともに大変ですが、まわりの方々に協力してもらいながら、自分で考えしなやかに生きていかれることをお祈りしています。

硬派な Aussie ガール

滝沢 惟 (平 23 学情)

2007年4月、オーストラリアでの高校生活を終えた私は大きな期待と少しの不安を胸に入学式を迎えました。しかしガイダンス初日、情報工学科 70 名中の女子 8 人と会った瞬間、私が抱いていた不安は払拭されました。みんなとてもフレンドリーで、クレバーで、この 8 人の仲間がいたからこそ、勉学にも勤しめ、様々なことに挑戦できました。その後、大学院に進学してからは、アグレッシブで、ユニークな後輩に恵まれ、一人では成し遂げる事の出来なかった、最優秀プロジェクト賞を頂く事ができました。



▶茨城大学学生国際会議 (ISCIU)

大学 2 年生、日立キャンパスに移ると、専門科目の講義が増えレポートに追われる日々。多くの仲間に助けられながら、ひとつひとつをクリアしていきました。3 年生の 11 月には、茨城大学の学生が主体となって開催する茨城大学学生国際会議で、「Why do we have to learn English?」をテーマに、茨城大学の先生方と 4 人でパネルディスカッションを行いました。オーストラリア留学で感じたことや、体験したことを共有することができ、素晴らしい経験になったと感じています。この会議をきっかけに、他大学の学生とも交流でき、研究会や国際会議に対する関心が高まりました。

▶米倉研究室：地域情報化

4 年生となり研究室に配属されてからは、「地域 SNS(Social Networking Service)」を研究対象とし活動を行いました。地域の口コミ情報をオンライン化する地域 SNS をどうしたら有効に稼働できるかを調査・評価する、情報化アセスメントに取り組みました。地域活性化を目的とした地域 SNS は各地で立ち上がっていますが、有効に活用されず「立ち枯れ」状態となっているものが多く存在します。物を作るだけでなく、運営の仕組みづくりが重要であることを学びました。9 月には社会情報学会で研究発表を行い、先駆者の経験談を伺うことができ、仕組みづくりのヒントを得られたと思います。

▶学生地域参画プロジェクト

また、研究活動と同時に「女性応援プロジェクトがんばれ県北地区の女性たち」というプロジェクト名で、茨城大学地域連携推進本部が設ける「学生地域参画プロジェクト」に参加しました。自身で立ち上げたプロジェクト。より良い成果を

上げる為に、最後まで責任持って取り組む事を熱望しました。目標は、点在する地域団体が繋がり、ネットワークが構築される事で、新たな地域活性化への足がかりになる事です。様々な団体にご協力を頂き、参加者同士の交流を目的とした「ビューティーサロン」、育児疲れをリフレッシュできる「親子で一緒にリフレッシュ講座」、高校生・大学生を対象とした「就活メイク講座」など女性が楽しめる複数のイベントを開催しました。それぞれのイベントで培ったノウハウや、コネクションを活かし、市議会議員やマスメディアを巻き込んだパネルディスカッション「地域×女性」を、2 年目の最終イベントとして開催する事が出来ました。最初は、独りで抱え込み、孤軍奮闘しましたが、周りに協力を仰ぐ事で、プロジェクト内外において同志を見つける事が出来ました。このプロジェクトの成果としては、新聞社からの取材、日立市女性青少年課の 5 カ年計画書への掲載、優秀賞/学長表彰の受賞等、多くの外部評価を頂いた事で、プロジェクト活動が認められ、地域団体のネットワーク構築へのきっかけになれたと思います。多くの方のご協力で、とても有意義な活動が出来た事を嬉しく思います。

▶工学部広報委員会

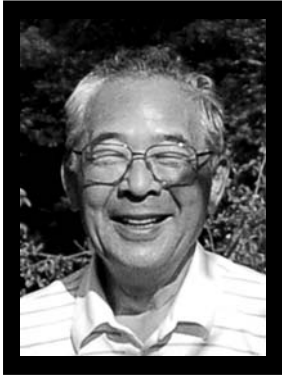
2011 年 10 月、工学部各学科の女子学生約 2 名ずつが集まり、工学部の広報を行うグループが誕生し、この委員会では、初代学生リーダーを務めさせて頂きました。ケーブルテレビ「JWAY」と協力し、広報委員会の女子学生がリポーター役を務め、大学の紹介を行う、「GO!GO!工学ガール!」の撮影を行っています。この放送の反響は予想以上に大きく、地域住民と工学部の距離が少し縮まりました。地域の方から声をかけて頂けると、普段では体験できないリポーター役を務める学生の声にも、熱が入ります。また、こうがく祭では、OG の方と現役女子学生とのパネルディスカッション「就職活動について」も計画し、工学部紹介のリーフレット作り等も行いました。工学部の楽しさを高校生みんなに伝えられたらと、日々活動しております。

このような経験から、常に前向きに挑戦していくことの大切さを学び、みんなの助力があるおかげで今の私があることを実感する学生生活となりました。お世話になった先生方、事務職員の方々、先輩、同級生、情報工ガールズのみんな、すべての出会いに感謝します。ありがとうございました。

著者プロフィール

| | |
|-------|-----------------------------|
| 1988年 | 長野県飯田市に生まれる |
| 2003年 | オーストラリアへ高校留学 |
| 2007年 | 茨城大学工学部(情報工) 入学 |
| 2011年 | 同大学同学科卒業 |
| 2011年 | 茨城大学大学院 (理工学・情報工・博士前) 入学 |

悼む 廣瀬行一幹事長急逝



ご逝去を悼む

支部長
上月 秀俊 (昭36学機)

5月2日、東京支部幹事長の廣瀬行一氏が71歳で逝去されました。今年の1月末ご本人から酷く体調を崩したので入院すると電話を戴き、驚きました。

その後入院中のご本人から数名の幹事へ何時もの声で2〜3ヶ月で復帰すると電話を受けたとの話も聞いておりました。ご本人の強い闘病意識・奥様をはじめご家族の献身のご看病でこの難局を克服されると期待しておりましたが訃報に接し、何時も明るい笑顔で優しい廣瀬さんにもうお会い出来ない事は、本当に、本当に、本当に悲しく、寂しい事で、謹んで心から哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り致します。

顧みますと私は廣瀬さんに誘われ東京支部での活動に加わりました。廣瀬さんは東京支部設立当初から一番若手の幹事をされており、1986年頃東条会館での幹事会へ出て以来のお付き合いでした。

私は1989年から海外駐在後に宇都宮に赴任し10年余東京支部から離れましたが、廣瀬さんも同じで宇都宮で再会し、栃木支部総会への出席や、廣瀬さんが日立製作所(営業部長時代)・関東日立(社長・会長時代)にお勤めされている折に公私にわたりお世話になり有難く心より感謝しております。宇都宮勤務時代は土・日帰宅の単身赴任しておられ良く家におられる奥さんが身体の不自由な叔母さんを四六時中世話されている事に気遣っておられた、大変思いやりのある優しい人柄でした。

東京支部への復帰後は幹事会・支部活性化へ絶大な人脈を駆使し、相変わらずの行動力で多くの後輩を勧誘され現体制の基礎作りをされました。誠に感謝、感謝です。

幹事長を失いました悲しみは大変深いのですが、東京支部発展の為に尽力戴きました氏の恩に報いる事が私どもの使命と考え、幹事一同力を合わせ前進してゆきます。どうか心安らかに眠り下さい。 合掌。

弔 辞

橋本 政巳 (昭38学電)

橋本でございます。大学時代の友人と致しまして、謹んで告別の言葉を申し上げたいと思います。

廣瀬君、君とは昭和34年4月、茨城大学工学部電気工学科へ入学した時に知り合いましたね。入学した年の秋、君はまだ大学生活に慣れていない私達のために、筑波山登山を立案し、ドイツ語の保坂先生までお誘いし、私達相互間の親睦を図ってくれました。この行事がきっかけとなり、クラス内の交流が深まって、卒業後の発振会発足へ繋がったと言えるでしょう。

君は日立多賀の工学部校舎へ移ってからも、高鈴山登山など多くの行事を企画立案し、クラスの先頭に立って私達を引っ張ってくれました。

大学卒業後は、クラス会を「発振会」と命名し、日立製作所在職中から今日まで、忙しい業務をこなしながら会長兼幹事長として約50年もの間、面倒を見てくれました。5年に1回の定期総会や、そしてその間には臨時総会や旅行会を開催し、そのほとんどのお膳立てをしてくれましたね。本当にありがとう。

君が居なかったら、とてもこんなに長くは続かなかったでしょう。来年には50周年の記念総会が予定されており、君も張り切っていただけに、さぞ悔しい思いをしていることでしょう。

また、君が素晴らしいのは、クラス会だけでなく卒業後、間もなくから、茨城大学の前身である多賀工専を戦前に卒業した、石井さん、東條さん、渡辺さんなどの大先輩や大学の近江先輩などと共に同窓会活動に参加し、東京支部創立にも大きな力を発揮してくれたことです。

お陰様で一昨年支部創立30周年記念会報には、沢山の貴重な資料を提供して頂くことができ、また東京支部30年の歩みなども執筆して頂きました。38年卒各科合同同窓会の実現にも貢献されましたね。そろそろ東京支部長をやっていたかねばならない時期が近づいていたという時点で急逝は、あまりにも残念でなりません。

定年退職後は、実家に戻り農作業をしながら歴史を勉強し、また囲碁に熱中していましたね。あつという間に囲碁の実力を上げたその努力には、ただ感嘆するのみです。また旅行会の宿で歴史を熱く語る君の姿は、今も私のまぶたに焼き付いております。

誠実で律儀、やさしくて温厚、意志が強く責任感がある、計画が緻密で実行力がある等々、君には褒め言葉しかありません。

伝え聞くところによると、亡くなる直前の早朝、目を覚ますと、見守る奥様やご家族に向かって最後に一言、「ありがとう」と言われたとか。奥様もそれを聞き、共に闘って来たこれまでの約4か月に渡る大変なご苦勞が一気に報われた思いだったのでは無いかと推察いたします。本当に君は立派な男だ。

これから私達は、君の意志を継いで発振会を続けていきますし、多賀工業会東京支部も仲間達の手で引き継がれていくでしょう。どうか天国で見守って下さい。

君はクラスで誕生日が一番若く、まだまだこれからという時に、こんなに早く逝ってしまうとは・・・、未だに信じられぬ思いで一杯です。これまでの君のご尽力に対し、心から感謝の意を表し、ご冥福をお祈りしたいと思います。

どうか安らかに眠って下さい。

平成24年5月6日

日立総合支部の紹介

支部長 磯崎公郎（昭34学原）

東京支部の皆様 今日は。益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。貴支部第15号会報「支部めぐり」の担当支部として、当支部近況をご紹介致します。



当支部は平成5年に14番目の支部として、季節19企業支部等を統合して創立、所謂総合支部であります。近年当地大手企業の統廃合に伴い、累年支部数が減少、現在12企業支部に、これらに属さない会員の地方支部を加え、13支部を統合して事業活動を展開しております。

先ず事業活動は総会、会報発行を中心に、企業支部との連携・親睦・情報交換・本部近隣支部との友好活動であります。

本年度総会は6月8日（金）市内ホテルに於いて会長の臼井敏雄殿（昭40学電）を始め水戸勝田、東京、栃木、いわき4支部長をご来賓に、当支部会員を加え、総勢84名で盛大に開催しまし

た。恒例の母校との交流は、中国の女子留学生、情報システム科学専攻博士後期課程1年生寧静（ニンチン）さんを講師に、「中国の文化と留学生生活について」の講話を和やかに感銘深く拝聴、併せて日中友好の一助にもなりました。大先輩棚谷博殿（昭17専金）の乾杯で始まった懇親会は、時間を延長するほど盛り上がりました。

会報は副支部長森俊郎殿（昭36学機）を委員長に総会資料も然る事ながら、各企業支部日より、会員のエッセイ、母校教授投稿等広範に掲載して会員相互の情報交換の場に利用されております。一方広告料は収入源の一つとして、事業活動に大きく寄与しております。

当支部収入の特徴は支部会費を徴収せず、総会会費、会報広告料、本部援助金が主たる収入で、現状会報発行費を上回る広告代によって、何とか繰越金が多少増加傾向にありますが、何れ本部援助金縮減に、健全な収支維持が、不可になると苦慮しております。

ところで会長臼井敏雄殿には、設立時の定めにより、平成24、25年度は茨城大学同窓会連合会会長に就任されます。当会は会長推薦支部として多賀工業会共々、全面的に協力支援する所存ですが、貴支部にも何卒ご協力ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

結びに貴支部更なるご発展のため、会員皆様の尚一層のご活躍をご祈念申し上げ、近況ご紹介と致します。

六角堂再建なる

昨年の東日本大震災の津波で流出した六角堂が再建されました。

この六角堂は、明治時代に活躍した美術思想家の岡倉天心（1862～1913）が1905年（明治38年）に五浦海岸（北茨城市）の突き出した岩上に建設したもので、天心は観瀾亭（かんらんてい）と名付け、太平洋を眺め、波の音を聞きながら思索にふ



再建された六角堂（六角の一辺の長さ=1.8m）
写真撮影は内田氏

けったと言われていました。

天心の没後は遺族が引き継ぎ、1942年（昭和17年）に財団法人岡倉天心偉績顕彰会が設立され、管理者となりましたが1955（昭和30年）、同会の会長であった横山大観は、茨城大学に寄付を打診し、六角堂を含む五浦の天心遺跡3,143m²は、岡倉天心偉績顕彰会から茨城大学へ寄付されました。

大学では流失後ダイバーが潜水して海底調査を行いましたが見つかず、当初検討されていた復元はあきらめ、再建に至りました。

北茨城市在住の内田 茂（昭38学電）氏はこの再建を喜び短歌を詠んでいます。

- 去年の春津波に失せし六角堂
再建なりて朝陽に耀（かがよ）ふ
- 待ち望み復元されし六角堂
白波寄する岸壁に建つ
- 松風の爽やかに吹き震災の
心を癒す六角堂ぞ
- 砕け散る白波に映え赤らかな
六角堂にぞ喜び湧きぬ
- 天心の心の宿る六角堂
尋ぬる人に灯を灯すらむ
（六角堂再建 H24-4-15）

お知らせ 囲碁同好会

会長 田中 栄太郎 (昭 40 学化)

現在、会員の登録者は、専通 22 の大先輩から
 学子 51 の若手までの方々 44 名で、棋力は七段から
 9 級までいろいろです。大会は、年に 4 回で、2 月、
 5 月、11 月の第 2 土曜日と 8 月の第 1 土曜日に東京
 駅近くの碁会所「いずみ囲碁ジャパン」で行います。

試合は、午前 10 時から夕方まで、参加者各人が 5
 回対局する方式で熱戦を繰り広げます。



第 49 回多賀工業会囲碁大会参加者

 大会入賞者 (支部会報第 14 号記載以降)

| 大会 | 開催日 | 優勝 | 準優勝 | 三位 | 四位 | 五位 | 六位 | 奨励賞 | 参加者 |
|----|---------------|------------------------|-----------------|----------------|----------------|------------------------|------------------|------------------------|------|
| 47 | 2011 08-06 | 上田三段 (電 37) | 山田五段 (電 42) | 藤沼四段 (機 43) | 田口五段 (電 32) | 山崎 3 級 (原 31) | 田中四段 (化 40) | 兼子二段 (電 38) | 18 名 |
| 48 | 2011 11-12 | 兼子二段 (電 38) | 高橋五段 (精 41) | 桜井三段 (機 38) | — | — | — | 山田五段 (電 42) | 14 名 |
| 49 | 2012 02-11 | 寺内 (道) 四段 (化 44) | 小白井二段 (機 28) | 幸道初段 (通 22) | 山田五段 (電 42) | 寺内 (賢) 四段 (電 38) | 山崎 3 級 (原 31) | 岩田二段 (機 37) | 18 名 |
| 50 | 2012 05.12 | 寺内 (道) 五段 (化 44) | 高橋孝二段 (電 34) | 高田三段 (機 28) | 上田三段 (電 37) | 豊田四段 (機 38) | 藤沼四段 (機 43) | 寺内 (賢) 四段 (電 38) | 21 名 |

旧制水戸高校と親善囲碁大会

高田 丈夫 (昭 28 学機)

本大会は千葉県支部、埼玉支部からの応援参加を得
 て、溜池山王の細川ビルで行われています。

従来、年 2 回の開催でしたが、今後 1 回 (8 月) に
 なります。

初回の棋力は申告制で、ハンディ制を採用してい
 て、段級位にかかわらず、勝つチャンスがあるよう
 な運営システムでやっています。成績次第で、段級
 位が昇降します。囲碁に関心のある方は、ご参加く
 ださい。

会費は 2,000 円 (入場料、運営費を含む) で 1 位
 から 6 位まで (参加者数による変更有り) の方と実
 力を発揮できなかった方 1 名に奨励賞が
 授与されます (準スイス方式を採用)。

対局終了後、会場近くで、希望者による簡単な懇
 親会を行っています。

会連絡窓口 : 田中 栄太郎

T e l / F a x 0466-82-4988

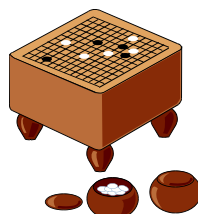
後列左から: 矢嶋二段、兼子二段、寺内 (道) 四
 段、上田三段、高田三段、真下七段、藤沼四段、粕
 谷二段、渡邊 9 級、山田五段

前列左から: 山崎 3 級、田中四段、山下七段、幸
 道初段、小白井二段、寺内 (賢) 四段、岩田二段
 (於 八重洲のいずみ囲碁ジャパン)

- 3 勝 1 敗: 高田丈夫、兼子八郎
- 2 勝 2 敗: 佐藤隆義、粕谷利夫
- 1 勝 1 敗 2 持碁: 上田正雄
- 1 勝 1 敗: 須田照男
- 1 勝 2 敗: 小白井和典
- 1 勝 3 敗: 田口嘉男、田中栄太郎
- 0 勝 3 敗 1 持碁: 幸道貞一

第 9 回: 平成 24 年 2 月 18 日 (土)

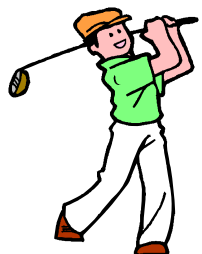
参加者: 水高側 9 名、多賀工業側 13 名
 多賀工業会側の勝敗 25 勝 19 敗 4 持碁
 4 勝 0 敗: 山下正明
 3 勝 0 敗 1 持碁: 寺内賢一
 3 勝 0 敗: 藤沼隆夫



< 囲碁格言 >

“取ろう取ろうは取られのもと”

B: そんなこと言たって、取った
 時の気持ち良さがたまないもんね。
 A: その気持ち解るなあ。でもね!



ゴルフ同好会

幹事 小澤 茂(昭 43 学子)

年間行事として春秋 2 回のコンペと、6 月には 4 支部対抗懇親コンペを開催しています。

(1) 平成 23 年 4 月 13 日 (水)

第 20 回 紫カントリークラブあやめ東コース
参加者：13 名

(2) 平成 23 年 6 月 7 日 (火)

4 支部対抗懇親コンペ：埼玉支部が幹事担当
プレステージカントリークラブ 参加者：20 名
(以上については、会報第 14 号で既報)

(3) 平成 23 年 11 月 16 日 (水)

第 21 回 紫カントリークラブあやめ東コース
参加者：9 名 (敬称略)

上月(昭 36 学機)、上田(昭 36 学機)、小林(昭 38 学機)、大久(昭 38 学電)、兼子(昭 38 学電)、磯部(昭 38 学精)、青野(昭 41 学化)、千ヶ崎(昭 43 学子)、小澤

優勝：上田、準優勝：小林、3 位：上月
ベスグロ：上田(82)、NP:青野、小澤

☆上位 3 名による熾烈なトップ争いで最終ホールまで纏れたが、上田さんがベスグロで見事 2 連覇を達成し、記念大会特別賞を獲得した。

(4) 平成 24 年 4 月 18 日 (水)

第 22 回 紫カントリークラブあやめ東コース
参加者：13 名 (敬称略)

上月、上田、小林、駒場(昭 38 学機)、大久、

兼子、根本(昭 38 学電)、磯部、森(昭 40 学化)、青野、角田(昭 43 学子)、西岡(昭 47 学機)、小澤

優勝：西岡、準優勝：角田、3 位：森

B G：西岡(82)、NP:森、根本、青野、小澤

☆ 初参加の西岡さんが圧倒的な強さを発揮し、ベスグロで初優勝を飾った。

☆ 支部対抗コンペ代表は、上月、青野、小林、大久、兼子、根本、角田、小澤に決定した。

(5) 平成 24 年 5 月 23 日 (水)

4 支部対抗懇親コンペ：東京支部が幹事担当
紫カントリークラブ 参加者：21 名 (敬称略)

新ペリア方式 18 ホールストロークプレー

☆個人戦優勝：上田正雄(埼玉)、

2 位：川崎稔(水戸勝田)、3 位：加藤威(千葉県)、

4 位：高橋 實(埼玉)、5 位：綿引貞男(千葉県)、

6 位：青野潔(東京)

ベスグロ：加瀬勝弘(80)、青野潔(80)

G D C：加藤、高橋

D C：加藤、高橋×2、

加瀬

NP：上田、米沢、加藤、青野

☆団体戦優勝：埼玉支部、2 位：水戸勝田支部

3 位：千葉県支部、4、5 位：東京支部

元気な 32、33 卒メンバーの活躍で、楽しい熾烈な優勝争いが繰り広げられた。

☆ 次回幹事：千葉県支部が担当

(6) 平成 24 年 11 月 14 日 (水)

第 23 回 紫カントリークラブあやめ東コース
参加者募集中!



H24-5-23 千葉県野田市 紫CCにて
4 支部対抗懇親ゴルフコンペ参加の皆さん



山遊会



会長 小森弘樹 (昭 42 学機)

平成 23 年夏から 24 年春まで 6 回の山行とハイキングを行いました。このうち 24 年 4 月に行ったのは、昨年同時期に計画し大震災のため延期した常陸 (日立) への一泊二日の、「懐古のハイキング・訪問」でした。これらは前年度に田崎副会長が立てられた計画でほぼ実施しています。

なお、山行計画ごとに約 1 ヶ月前に「多賀工業会東京支部」のホームページに掲載して参加者を募集しています。山遊会員でない方の参加も歓迎します。是非参加してください。

1. 第 34 回 御岳山・蓮華升麻撮影ハイク

実施日：2011 年 8 月 16 日 (火) 日帰り

企画及びリーダー：田崎耕八 (昭 32 学電)

参加者：3 名 田崎、矢野 (32 学原)、
青野 (昭 41 学化)



<御嶽神社の前で>

行程：御嶽駅 (バス) - 滝本駅 (ケーブルカー)
- 御岳山駅 - 富士峰園地 - 御嶽神社 -
ロックガーデン - 御嶽山駅 - 立川

富士峰園地に群生する蓮華升麻の撮影に向かう。5 万株の蓮華升麻が群生している日本一の地だ。が、今年は開花が遅れ期待がはずれ残念。園地を下り御嶽神社に参拝。標高 900m のロックガーデンへ。下って「東京の奥入瀬」七代の滝で涼む。
(報告者：田崎)

2. 第 35 回 巾着田の曼珠沙華と日和田山・物見山ハイク

実施日：2011 年 9 月 23 日 (金) 日帰り

企画及びリーダー：田崎耕八

参加者：7 名 田崎、矢野、小宅 (38 学電)、兼子 (38 学電)、青野、林 (特別会員)、佐竹 (特別会員)

行程：高麗駅 - 巾着田 - 日和田山 - 高指山 - 物見山 - 北向地藏 - 武蔵横手駅

高麗の里の特異な地形の巾着田に咲く彼岸



<物見山頂で>

花を観て、日和田山から武蔵横手駅までの秩父山塊の東端・関東平野の西の果て・高麗丘陵をハイキングした。日和田山中腹からは手前に巾着田、左奥に関東平野、真ん中に新宿高層ビル、右奥に大山・丹沢山塊が望めた。
(報告者：田崎)

3. 第 36 回 石割山(1,413m) から山中湖北岸の山稜縦走

実施日：2011 年 10 月 21 日 (金) 日帰り

企画及びリーダー：田崎耕八

参加者：6 名 田崎、矢野、小宅、前田 (37 学機)、兼子、青野

行程：新宿 (高速バス) - 山中湖畔平野 -

石割山 - 平尾山 - 大平山 - 飯盛山 - 長池山
山中湖北岸に連なる山稜の山中湖ハイキングコースを縦走した。石割山頂では残念ながら小雨と霧で富士山や山中湖の絶景どころか何も見えず。



<石割山山頂で>



<平尾山頂上で>

(報告者：田崎、矢野)

4. 第37回 払沢の滝・天狗の滝・綾滝と
大岳山(1,266m) 登山

実施日：2011年11月23日(水) 日帰り

企画及びリーダー：田崎耕八

参加者：3名 田崎、青野、林

行程：武蔵五日市駅(タクシー)ー払沢の滝ー天
狗の滝ー富士見台ー大岳山ー御嶽山駅

空は晴れ渡り風もなく絶好の登山日和。払沢の
滝では楓の葉はまだ青かった。富士見台からは薄
っすらと富士が見えた。大岳山頂上に到着し展望
を楽しんだ。(報告者：田崎)



<大岳山頂上にて>

5. 第38回 鎌倉天園ハイキングコースの
ハイキング

実施日：2011年12月11日(日) 日帰り

企画及びリーダー：田崎耕八、小森

参加者：5名 田崎、矢野、兼子、青野、小森

行程：鎌倉駅ー建長寺ー天園ハイキングコースー
鎌倉駅

建長寺の奥にある半僧坊の展望台からは、
天気恵まれ由比ヶ浜から稲村ヶ崎へ続く鎌倉
の海岸、西側には霊峰富士が眺められた。ここ
から天園ハイキングコースに入る。45分ほどで大
平山に着き、小休止の後、尾根道を歩き瑞泉寺
に向かって山を下り、鶴岡八幡宮へ向かい、鎌



<コースの最高峰の大平山は標高159m>

倉駅近くの店で忘年会を行った。(報告者：矢野)

6. 常陸の国の花々を愛する懐古ハイク

実施日：2012年4月7日(土)～8日(日)

企画及びリーダー：小宅(昭38学電)、小沼(昭
41学化)

参加者：10名 矢野、小宅、前田、兼子、小沼
(41化)、青野、小森、林、
佐竹、薨(特別参加)

行程：4月7日(土) 日立駅(タクシー)ー
御岩神社ー岩団扇群生地ー高鈴山ーショウ
ジョウ袴群生地ー助川海防城跡公園ー平和
通ー日立駅(車)

ー東洋館(河原子)

4月8日(日) 東洋館ー茨大工学部キャン
パスー神峰公園ー吉田正記念館

ー日立駅

4月7日(土) この二日間の案内は小宅さんと
地元在住の小沼さんの二人。ほぼ50年ぶりに高
鈴山山頂に立つ。下山の途中、コースのポイント
であるショウジョウ袴の群生地に会う。

4月8日(日) 茨大工学部のキャンパスはたく
さんの建屋と整備された構内を感慨深く見学。こ
こを後に神峰公園とその頂上の「吉田正作曲記念



<高鈴山山頂で>

館」へ。記念館は立派な建物であった。

(報告者：小森)

詳細については

多賀工業会東京支部ホームページをご覧ください。
「多賀工業会東京支部」入力で検索可能です。



写真同好会

技術顧問 小林 渡(昭38学電)

写真同好会は会員18名、年2回の撮影会、茨城大学工学部「こうがく祭」及び「東京支部同窓の集い写真展」への出展、写真部総会時の講習会を実施しております。埼玉支部「ワンダーフォトクラブ」と連携し相互に撮影会に参加、技術の向上、親睦を深めております。「こうがく祭」は東日本大震災のため中止となりました。平成23年度の活動状況は以下の通りです。

(文中敬称略)

* 春の撮影会

平成23年5月20日(金)「文豪達が活きた街、文京・本郷界限・不忍池を歩く」と題した散歩コースで実施しました。当地に詳しい山崎慎一郎(31学原)の案内でかつて樋口一葉、宮澤賢治、夏目漱石、正岡子規、森鷗外といった文豪達が愛し、歩いた街に思いをめぐらし撮影しながら散策しました。

参加者：玉川信二(28学電)、鈴木日出男(30学原)、山崎慎一郎夫妻(31学原)、熊谷文男(38学電)、小林渡(38学電)、三好成實(39学機)



安田講堂前にて

左から 三好、熊谷、鈴木、玉川、山崎、山崎夫人、小林

* 第31回東京支部同窓の集い写真展

平成23年6月25日(土)開催、会員10名が20点出展しました。写真の他に水彩画、仏像彫刻が出展されました。

* 秋の撮影会

平成23年10月6日(木)～7日(金)秋の軽井沢、浅間高原に1泊2日の撮影旅行を実施しました。6日高速バスにて軽井沢へ、街を散策夜は懇親会で盛り上がりました。翌7日は浅間山麓、鬼の押し出し園で撮影しました。

参加者：鈴木日出男、寺門修(30学原)、山崎慎一郎、坪弘(37学機)、小林渡、新沼厚生(38学電)、原俊彦(39学電)、三好成實

* 写真同好会総会

平成24年3月16日(金)東京西日暮里「東京知道会事務所」にて開催しました。参加者10名 内容以下の通りです。

- 平成24年度多賀いちょう写真同好会新組織体制
部長 三好成實、顧問兼副部長 山崎慎一郎、副部長 石川久(44学子)、顧問 玉川信二、技術顧問 鈴木日出男、小林渡
- 東京支部会報第15号 表紙写真の選定
作品は5名、20点出展会員による投票で5点選出、協議の結果三好成實 題名「根雪のつもる頃」に決定しました。その他の作品も傑作揃い、東京支部のホームページのトップページに掲載しました。
- 講習会 講師 技術顧問 鈴木日出男
・映像による「バンングラデシュ祈りの旅」昨年3週間に渡る撮影旅行の貴重な撮影旅行記録。
・簡単な写真の修正法 画像ソフト Photoshop CS 又は Photoshop Elements を使用。
「写真全体をトーンカーブで処理する方法」、「写真の一部を明るい色に変える方法」
- 平成24年度行動計画
・春の撮影会 5月亀戸天神
又は業平橋付近スカイツリー
・こうがく祭「写真展」6月2日(土)
・秋の撮影会 1泊2日コース。
・東京支部同窓の集い「写真展」10月13日(土)実施。
・「シルクロード旅情 撮影ツアー10日間」
10月14日(日)～23(火)任意参加。

* 会員活動状況

会員の方で全国組織全日本写真連盟に属し各種コンテストに入賞、入選と活躍しております。会員の主な活動状況は以下の通りです。

- 斎田和夫(28学機)
・第61回埼玉県美術展委託の部
高田誠記念賞受賞
・第28回埼玉県写真サロン 招待作品出展
・第10回さいたま美術展覧会入選
- 鈴木日出男
・第61回埼玉県展入選
・第28回埼玉県写真サロン入選
- 澤野孝慈(37学機)
・2011全神奈川写真サロン 特選入賞
- 小林渡 KAI
・第3回人間大好きフォトコンテスト
優秀賞受賞
・県民が見た世界遺産写真展
第2部門「世界遺産と人間」金賞受賞
- 堀口正治(44学子)
・茨城写真サロン2011「海の街・大洗」大撮影会
モデルの部 秀作受賞
風景・スナップの部 特選入賞
・第42回カラーフェア入選

*** 入会の案内**

撮影会の案内は東京支部のホームページに掲載しております。特に女性会員の参加をお待ちしております。

連絡窓口 三好成實 TEL/FAX : 042-726-6538
E-mail : miyonar@yahoo.co.jp

第31回 同窓の集い写真展出展リスト

作品題名の前に○がある作品は巻末 26 頁に写真を掲載しています。

| 氏名 | 卒年・科 | 題名 | 撮影地等 | 特記事項 |
|--------|-------|---------------|------------|-------------------------|
| 菊地 玲二 | 昭26専通 | ○ 茜空 | ハワイ海岸 | |
| | | 格子窓 | 本郷菊坂 | |
| 斎田 和夫 | 昭28学機 | A Lovely Calf | ベトナム | 第71回 国際サロン 入選 |
| | | ○ チャスパルバの祈り | ネパール | 第61回 埼玉県美術展委託の部 高田誠記念賞 |
| 玉川 信二 | 昭28学電 | ○ 飛天 | 京都名刹の壁 | 仏像彫刻 |
| 鈴木 日出男 | 昭30学原 | ○ 思春期 | ネパール | 第60回 埼玉県美術展 入選 (2010年) |
| 山崎 慎一郎 | 昭31学原 | 津波の脅威 | 小名浜港 | |
| | | 津波の爪痕 | いわき市薄磯 | |
| 澤野 孝慈 | 昭37学機 | ○ ボン・ボワヤーシ | 横浜港 | |
| | | ひと休み | 横須賀市内 | |
| 小林 渡 | 昭38学電 | ○ 早く出ておいで | 横浜市 | 第3回 人間大好き! フォトコンテスト 優秀賞 |
| | | 化石加工職人 | モロッコ・ワルザード | |
| | | ファンタジア | モロッコ・マラケシュ | |
| 高橋 伸二 | 昭41学機 | ○ Lock On | 馬事公苑 | 第61回 埼玉県美術展 入選 (2011年) |
| 石川 久 | 昭44学子 | 磯の荒海 | 千葉県 野島岬 | |
| | | 白き流れ | 青森県 奥入瀬 | |
| 村松 泰弘 | 昭44学電 | ○ 館川 | 埼玉県小川町 | 水彩画 第99回 日本水彩展 入選 |
| | | シャルトルの運河 | フランス | 水彩画 |
| | | モネの池 | フランス | 水彩画 |
| | | ドロミテの峠 | イタリア | 水彩画 第37回 全国日曜画家展 入選 |

こうがく祭

小林 渡 (昭38学電)

昨年東日本大震災のため中止となった「こうがく祭+オープンキャンパス」が6月2日(土)茨城大学工学部日立キャンパスで開催されました。写真展は多賀工業会館にて開催(右上写真: 展示模様)、東京支部5名、17点、埼玉支部7名、15点、栃木支部会4名、10点出展致しました。作品は国内、海外撮影の各種コンテスト入賞作品等が多数展示されておりました。展示会場が本館より会館に移ってから、場所が離れている為か見学者が相変わらず少なく、写真展の案内板に代表的な写真を展示する等、会場の入場者が注目する工夫が必要と感じました。こうがく祭、各学部の研究室公開は勿論、今年は「市民が語る: 平成23年東北地方太平洋沖地震-その時あなたは? 新たな防災・減災のために何が出来るか?」、パネル討論会「女子の就職を考える」等が注目されました。屋外のイベント・ライブ・模擬店、女子学生と東南アジアからの留学生(写真右下: インドネシアからの女子留学生)が目立ちました。JR日立駅は日立出身の世界的建築家による設計で、ガラスを主体とした構造の超近代的な駅に変貌しておりました。



↑ 写真展
多賀工業会館にて
各支部から出展

女子留学生
(東南アジアからの留学生が目立つ)

平成23年度会費納入者

(敬称略、順不同)

(平成24年5月31日までに納入された方)

* 会費ご納入有難うございました。納入された方で記載漏れや間違いがありましたらご寛恕の上、ご連絡下さい。
未納の方はご入金をお願いいたします。
Tel & FAX 045-891-2232(本名簿作成者:兼子)

氏名の前の□は平成22年度以前分も同時納入の方で中の数字は繰上年数を示します。

氏名の後の○は平成24年度以降分を同時納入もしくは既納入の方で中の数字は前納となる年数を示します。

| | | | |
|--------------|---------------|---------------|----------------|
| 昭16専機 大矢 純一② | 昭26専原 永山 正美 | 昭32学電 田崎 耕八 | 昭38学機 豊田 元雄 |
| 昭16専原 小川 義夫 | 昭26専原 渡邊 貢① | 昭32学電 横山 衛② | 昭38学機 寺門 章 |
| 昭17専機 田邊 邦行① | 昭26専通 菊地 玲二④ | 昭32学電 渡辺 英雄 | 昭38学機 中村 好秀 |
| 昭17専金 坪能 進 | 昭28学機 坂場 昭二 | 昭33学機 奥 康治 | 昭38学機 長谷川 幸夫 |
| 昭17専金 依田 連平 | 昭28学機 関 英雄 | 昭33学原 吉久保 節男④ | 昭38学機 半田 守正 |
| 昭18専機 山本 栄治 | 昭28学機 高田 丈夫 | 昭33学電 島田 直彦 | 昭38学機 益子 洋一 |
| 昭18専精 立枝 茂男 | 昭28学機 宮本 昇 | 昭33学電 鳥居 由幸 | 昭38学機 徳江 景英 |
| 昭18専金 市島 健男⑤ | 昭28学機 斎田 和夫③ | 昭33学金 荒川 靖 | 昭38学電 大竹 充② |
| 昭18専金 山田 実 | 昭28学機 小白井 和典 | 昭33学金 三浦 陽 | 昭38学電 大久 忠雄 |
| 昭19専原 藤田 勲 | 昭28学原 戸島 日出雄 | 昭33短電 伊藤 誠二 | 昭38学電 兼子 八郎⑥ |
| 昭19専精 柳田 裕美 | 昭28学原 山口 茂男 | 昭34学原 篝 能晴 | 昭38学電 後藤 紀夫 |
| 昭19専金 大鷹 浩介 | 昭28学電 稲見 孝 | 昭34学原 粕谷 宏夫 | 昭38学電 小林 渡 |
| 昭20専機 有井 満 | 昭28学電 近江 義勝 | 昭34学原 秋山 光庸 | 昭38学電 佐々木 登喜夫 |
| 昭20専電 2金原 正 | 昭28学電 白瀬 達郎 | 昭34学電 千葉 克男① | 昭38学電 2庄田 幸夫② |
| 昭20専電 都築 久一① | 昭28学電 玉川 信二 | 昭35学機 高野 久弘 | 昭38学電 田川 政行① |
| 昭20専通 山本 奎兵衛 | 昭28学電 橋本 久美 | 昭35学電 小島 正① | 昭38学電 新沼 厚生 |
| 昭22専機 小亀 秀郎① | 昭28学電 藤田 史郎 | 昭36学機 上月 秀俊 | 昭38学電 熊谷 文男② |
| 昭22専金 増山 哲也② | 昭29学機 永島 隆 | 昭36学機 境 茂郎 | 昭38学電 高萩 隆司 |
| 昭22専金 土屋 敏夫④ | 昭29学原 奥野 真治 | 昭36学機 真下 知行 | 昭38学電 坂野 栄 |
| 昭22専金 山田 公男 | 昭29学電 森 章太郎 | 昭36学機 森永 隆宏 | 昭38学電 橋 弘 |
| 昭22専金 明石 和夫 | 昭30学機 佐藤 久弥 | 昭36学機 横山 馨 | 昭38学電 寺内 賢一① |
| 昭22専通 幸道 貞一 | 昭30学機 田口 忠夫 | 昭36学電 小宅 仁⑤ | 昭38学電 故 広瀬 行一④ |
| 昭22専通 谷口 貞作 | 昭30学機 檜山 邦良 | 昭36学電 佐伯 明良② | 昭38学電 根本 陽③ |
| 昭22専通 中村 弘 | 昭30学機 小室 敏之 | 昭36学電 橋本 正直 | 昭38学電 内田 茂 |
| 昭22専通 前田 豊昭 | 昭30学原 鈴木 日出男 | 昭36学金 高信 和明③ | 昭38学金 海老原 雄二 |
| 昭22専通 今井 俊夫 | 昭30学電 木村 好延 | 昭37学機 1岩田 正路 | 昭38学化 大塚 進③ |
| 昭22専通 保坂 博① | 昭30学金 三本木 武 | 昭37学機 澤野 孝慈③ | 昭38学化 小田倉 勝夫 |
| 昭23専機 梅田 政夫 | 昭31学機 新田 和夫 | 昭37学機 野本 光彦② | 昭38学化 白石 道彦 |
| 昭23専金 菊地 秀利 | 昭31学原 瀬在 城雄 | 昭37学機 服部 則男 | 昭38学化 高木 二郎 |
| 昭23専金 村山 昭平 | 昭31学原 山崎 慎一郎 | 昭37学電 上田 正雄 | 昭38学化 矢部 功一④ |
| 昭23専電 塩野 譲 | 昭31学電 大内 孝 | 昭37学電 田北 嵩晴 | 昭38学精 市村 敬司③ |
| 昭23教電 千野 吉治② | 昭31学電 藤川 俊明 | 昭37学金 篠原 康祐 | 昭38学精 上野 武彦② |
| 昭24専精 鳥山 尚利 | 昭31学金 故 細井 陽子 | 昭37学金 舟田 隆 | 昭38学精 黒羽 昇① |
| 昭24専電 白石 壽男③ | 昭32学機 伊藤 義次 | 昭37短機 2白川 勇一 | 昭38学精 関 晋 |
| 昭24専通 海老原 和 | 昭32学機 柴田 勇治 | 昭38学機 河上 弘一① | 昭38学精 西村 政雄 |
| 昭24専舶 小峰 弘① | 昭32学機 平沢 正一 | 昭38学機 小林 一 | 昭38学精 矢嶋 國男 |
| 昭24専舶 杉山 六郎 | 昭32学原 金子 栄 | 昭38学機 駒場 方耀 | 昭39学機 佐川 六郎 |
| 昭25専原 忍田 邦夫 | 昭32学原 矢野 睦男 | 昭38学機 桜井 衛 | 昭39学金 横山 安行 |
| 昭25専電 高橋 清 | 昭32学原 榊原 康夫 | 昭38学機 佐藤 幸一 | 昭40学機 熊倉 通 |
| 昭25専電 村山 錦右 | 昭32学電 田口 嘉男 | 昭38学機 丹下 宏 | 昭40学電 山崎 輝行 |

| | | | |
|--------------|---------------|---------------|-----------------|
| 昭40学金 松本 二郎 | 昭43学機 ①遠藤 義和③ | 昭44学精 永井 和 | 昭49院子 松田 秀雄② |
| 昭40学化 高久 洋 | 昭43学機 ①西田 裕 | 昭45学電 ③永木 利夫① | 昭51学子 鈴木 弘光 |
| 昭40学化 田中 栄太郎 | 昭43学電 後藤 豊弘① | 昭45学子 藤枝 伸一 | 昭52学子 福田 光男 |
| 昭40学精 大泉 雅靖 | 昭43学電 村田 瑞穂 | 昭46学電 飯塚 英一 | 昭53学精 亀ヶ谷 茂① |
| 昭40学精 中田 健 | 昭43学子 小澤 茂④ | 昭46学電 狩野 守 | 昭55学精 二方 甲子夫 |
| 昭41学化 青野 潔 | 昭43学子 佐藤 将彦 | 昭46学子 栗原 功幸 | 昭56学機 峰村 勝幸② |
| 昭41学化 岡本 実④ | 昭43学子 鈴木 弘道② | 昭46学子 安田 健博④ | 昭58学機 有路 博④ |
| 昭41学化 小沼 淳志③ | 昭43学子 野崎 淳一④ | 昭46学金 大井川 勝雄④ | 昭59学機 原 保則 |
| 昭41学化 矢島 勝司④ | 昭43学子 袴塚 邦彦② | 昭46学化 宇留野 一広 | 昭59学子 仲澤 斉② |
| 昭41学精 高橋 徹男 | 昭43学金 鈴木 竹四 | 昭46院機 岡本 和彦① | 昭62学化 鈴木 葉子 |
| 昭42学機 小森 廣樹 | 昭44学電 緑川 晃③ | 昭47学機 高田 洋④ | 平04学情 秋山 英樹 |
| 昭42学機 菅谷 禎男 | 昭44学子 五十嵐 幸治 | 昭47学機 西岡 周二① | 平08学電・子 生井澤 伸秋③ |
| 昭42学機 藤嶋 久波 | 昭44学子 石川 久④ | 昭47学子 五十嵐 喜良③ | 平08院生 東 學 |
| 昭42学電 森田 徹郎① | 昭44学子 常盤 浩央 | 昭48学機 宮城 緑郎 | 平10学機 山本 夏江③ |
| 昭42学電 山田 恵規⑦ | 昭44学子 吉田 真吾 | 昭48学子 細矢 徹夫① | 平11学電・子 村山 隆彦 |
| 昭42学金 小菌井 健① | 昭44学精 岩波 茂 | 昭48学金 佐々木 光正② | 合計 229名 |
| 昭42学精 下ノ村 勇① | 昭44学精 菊地 政行 | 昭48学金 平野 秀朗 | |
| 昭42学精 山本 蕃 | 昭44学精 鈴木 秀一 | 昭49学機 岡田 和久 | |

平成22年度分会費納入者

平成23年度分と同時納入の方は、平成23年度会費納入者欄の氏名左側に数字入りの口印をつけて表示しています。

昭36学電 川松 正長 <お詫び> 昨年掲載漏れになりました。謹んでお詫びいたします。

平成23年度寄付者名簿

ご寄付有難うございました。

| | | | |
|-------------|--------|---------------|--------|
| 昭18専機 山本 栄治 | 10,000 | 昭31学金 故 細井 陽子 | 10,000 |
| 昭18専金 市島 健男 | 10,000 | 昭34学原 篝 能晴 | 10,000 |
| 昭22専金 増山 哲也 | 20,000 | 昭38学電 故 廣瀬 行一 | 50,000 |
| 昭22専金 土屋 敏夫 | 20,000 | 昭38学化 白石 道彦 | 10,000 |
| 昭26専通 菊地 玲二 | 2,000 | 昭41学化 小沼 淳志 | 10,500 |
| 昭30学機 小室 敏之 | 5,000 | 昭42学電 山田 恵規 | 10,000 |
| 昭31学原 瀬在 城雄 | 1,000 | | |

年会費納入のお願い : 添付の払込取扱票でお早めにご入金下さい。
寄付の場合もこの用紙をお使い下さい。

皆様に納入して頂く年会費とご寄付が当支部の主な財源となっています。

この年会費納入者名簿にお名前がなければ、昨年度(平成23年度)の年会費は未納となっています。

会員の皆様の過去5年間分の会費納入状況データを、皆様宛会報送付封筒の宛名書き部分に、表示しました。

卒業年学科の後の(H19~H23)に続く、「1」と「0」だけからなる5桁の数字です。「1」は年会費納入を示し、「0」は年会費未納を示します。H19年からH23年までの納付状況が、5桁の数字の左側から右側に向けて順に表示されています。下記例示をご覧ください。 <宛名サンプル例示(C)に該当します>

- (A) 11111→5年間分完納。
- (B) 11110→4年間納付したが昨年度分は未納。
- (C) 11100→3年間納付したが一昨年から2年分未納。
- (D) 00000→この5年間未納。会報未送 付年を含む。
- (E) 00111→H21から3年間納付。会報未送 付年を含む。

101-1234 会報15号在中
東京都千代田区多賀町1-2-3
多賀本町住宅 3番街 5-2345
多賀専 学太郎様
昭XX学○ (H19~H23) 11100

平成 24 年度東京支部 組織体制と担当役務

平成 24 年 5 月 25 日 改訂

- 顧問 幸道 貞一 (昭 22 専通)、渡辺 貢 (昭 26 専原)、近江 義勝 (昭 28 学電)、三本木 武 (昭 30 学金、多賀工業会副会長)、鈴木 日出男 (昭 30 学原)
- 支部長 上月 秀俊 (昭 36 学機、多賀工業会理事)
- 副支部長 駒場 方耀 (昭 38 学機)、小林 渡 (昭 38 学電)、兼子 八郎 (昭 38 学電)
- 幹事会 幹事長 上月 秀俊 (兼務) 副幹事長 大泉 雅靖 (昭 40 学精)
会計幹事 森田 徹郎 (昭 42 学電) 事務局長 小澤 茂 (昭 43 学子)
- 監事 小林 一 (昭 38 学機)、田中 栄太郎 (昭 40 学化)
- 会報編集室 編集室長 兼子 八郎 (昭 38 学電)
副編集室長 小林 渡 (昭 38 学電)、石川 久 (昭 44 学子)、藤枝 伸一 (昭 45 学子)
室員 山崎 慎一郎 (昭 31 学原)、小澤 茂 (昭 43 学子)、松田 秀雄 (昭 49 院子)、二川 克美 (昭 63 院情)
- ホームページ編集室 (本ホームページの URL : <http://tokyo.tagakgk.com/>)
編集室長 矢野 睦男 (昭 32 学原)
副編集室長 飯塚 英一 (昭 46 学電)
- 名簿編纂室 編纂室長 飯塚 英一 (昭 46 学電)
副編纂室長 一
昭 16 年から 26 年担当 兼子 八郎 (昭 38 学電)
昭 28 年から 35 年担当 駒場 方耀 (昭 38 学機) 注) 昭 27 年度卒は無。
昭 36 年から 45 年担当 駒場 方耀 (昭 38 学機)
昭 46 年から 50 年担当 大泉 雅靖 (昭 40 学精)
昭 51 年から 55 年担当 小澤 茂 (昭 43 学子)
昭 56 年から 60 年担当 飯塚 英一 (昭 46 学電)
昭 61 年から平成 7 年担当 二川 克美 (昭 63 院情)
平成 8 年から平成 24 年担当 二川 克美 (昭 63 院情)
女子会担当 小澤 茂 (昭 43 学子)
- 幹事会事務局の構成と役務
駒場 方耀 (昭 38 学機) 全般事項
上月 秀俊 (兼務) 主に総会担当
兼子 八郎 (昭 38 学電) 主に会報担当
飯塚 英一 (昭 46 学電) 主に名簿、ホームページ担当
森田 徹郎 (昭 42 学電) 主に会計担当
小澤 茂 (昭 43 学子) 主に幹事会担当
- 同好会
囲碁部 部長 田中栄太郎 (昭 40 学化)、 副部長 山田 恵規 (昭 42 学電)
ゴルフ部 部長 青野 潔 (昭 41 学化)、 副部長 小澤 茂 (昭 43 学子)
写真部 部長 三好 成實 (昭 39 学機)、 副部長 山崎慎一郎 (昭 31 学原)
副部長 石川 久 (昭 44 学子)
山遊部 部長 小森 廣樹 (昭 42 学機)、 副部長 田崎 耕八 (昭 32 学電)
女子部
社交ダンス部 休部
- H24 年度同窓の集い幹事 飯塚 英一 (昭 46 学電)
- その他 幹事
菊地 玲二 (昭 26 専通)、 玉川 信二 (昭 28 学電)、 瀬在 城雄 (昭 31 学原)、
榊原 康夫 (昭 32 学原)、 小宅 仁 (昭 36 学電)、 海老原 雄二 (昭 38 学金)、
白石 道彦 (昭 38 学化)、 高木 二郎 (昭 38 学化)、 大久保 孝紘 (昭 38 学金)、
黒羽 昇 (昭 38 学精)、 矢嶋 國男 (昭 38 学精)、 菅谷 禎男 (昭 42 学機)

「多賀工業会東京支部」で検索出来ます。各種情報が掲載されていますのでご訪問ください。

「東京支部会則」

(平成 23 年 8 月 27 日改訂)

第 1 章 総則

第 1 条 本会は、多賀工業会東京支部と称し、その支部事務所を支部長宅に置く。

第 2 条 本会は、会員相互の親睦を図り、合わせて母校の隆昌に寄与することを目的とする。

第 2 章 事業

第 3 条 本会は、第 2 条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 会報の発行
- (2) 会員名簿の整備・管理
- (3) 会員相互の連絡及び共励共助
- (4) 会員と母校との連絡
- (5) 発展向上のための講演会、研修会
- (6) 同好会活動
- (7) その他目標達成のため必要と認める事項

第 3 章 会員

第 4 条 本会の会員は、多賀工業会の会員で東京・神奈川及び近隣に在住・在勤している者、並びに支部長が特別に承認した者とする。

第 4 章 役員

第 5 条 本会は次の役員を置く。

- 支部長 1 名
副支部長 若干名
幹事長 1 名
幹事 若干名
会計幹事 1 名
監事 2 名
その他（同好会幹事、相談役、顧問など）
若干名

第 6 条 役員は、次の方法によって定める。
支部長は、幹事会の互選とし総会での承認を得るものとする。

支部長以外は、支部長が推薦し、現幹事会の決議を得るものとする。

第 7 条 役員は、次の通りである。

- 支部長 本会を代表し、会の運営・会務執行の責めに任ずる。
- 副支部長 支部長を補佐し、支部長が職務不能な時はその責務を代行する。
- 幹事長 幹事の業務を統括する。
- 幹事 会の運営業務を夫々分担して遂行する。
会計幹事 本会の収支、及び会計を担当する。
- 監事 会計を監査し総会で報告する。
- 同好会幹事 同好会毎に部長、副部長等を定め、自主的に運営する。
- 相談役 支部長の相談に応ずる。
- 顧問 支部長・幹事会の諮問に応ずる。

第 8 条 役員は、任期は 2 年とし、重任を妨げない。

第 5 章 会議

第 9 条 支部総会は、原則として毎年 10 月に開催する。但し、必要に応じ臨時支部総会を開くことができる。

第 10 条 支部総会は、次の事項について審議し、出席者

の過半数の賛成で決議する。

- (1) 支部長人事
- (2) 会則の改廃
- (3) 本会の年度決算並びに次年度予算
- (4) 本会の年度事業報告並びに次年度計画
- (5) 幹事会からの提出議案
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事項

第 11 条 幹事会は、幹事をもって構成し原則として年 4 回（2、5、8、11 月の第 4 土曜日）開催する。但し、必要に応じ支部長又は幹事長が臨時に召集し開催できる。

第 12 条 幹事会は、次の事項について審議し、出席者の 3 分の 2 以上の賛成で決議事項とする。

- (1) 支部長の互選及びその他役員決定
- (2) 会則の改廃案
- (3) 本会の年度決算案並びに次年度予算案
- (4) 本会の年度事業報告案並びに次年度計画案
- (5) 総会への提出議案
- (6) 細則規定の改廃
- (7) その他会務運営上必要な事項

第 6 章 会計

第 13 条 本会の経費は、会員の年会費、寄付金及び本部補助金をもってあてる。

第 14 条 現金の保管は銀行預金の方法による。

第 15 条 本会の会計年度は、4 月 1 日から翌年の 3 月 31 日までとする。

第 16 条 本会の収支は、会計幹事が担当し、監事が会計監査を行い総会に報告する。

付則 本会則は、平成 16 年 10 月 23 日より施行する。

細則規定

第 1 条 年会費は、2,000 円とし、会計年度内に徴収する。複数年度分の先行納入は拒まない。

- (1) 但し、一旦納入の会費は返還しない。
- (2) 会計幹事は年会費の銀行預金口座、郵貯振込口座の管理をおこなう。

第 2 条 会報は次の者に配布する。

- (1) 年会費納入者（但し、5 年連続未納者には以降配布を停止することが出来る。）
- (2) 支部総会参加者
- (3) 東京・神奈川に在住・在勤の直近 3 年間の卒業生
- (4) 配布希望者で支部長が許可した者
- (5) その他多賀工業会本部及び支部等の関係者

第 3 条 総会開催の案内は、会報にて発表するとともに書面で通知する。書面による通知は、第 2 条の対象者以外にも広げて発送する。

第 4 条 慶弔規定は別途定める。

第 5 条 80 歳到達の役員経験者に記念品を贈呈することが出来る。

第 6 条 幹事会に事務局長を置き、幹事会の取りまとめを行う。また、幹事長を補佐する副幹事長をおく。

第 7 条 本細則の改廃は、幹事会にて行う。

本細則は平成 16 年 10 月 23 日より施行する。平成 23 年 8 月 27 日に第 1 条(2) 追加、第 2 条 (1) 修正、第 6 条を追加した。旧第 6 条は第 7 条とした。

女子会その後の推移

小澤 茂 (昭 43 学子)

東京支部で立案し、関係者の協力を得て設立した女子会は、友田工学部長の御理解と御指導があり、工学部女子学生広報委員会とも連携し、本格的な活動を開始しました。取り敢えず支部組織的には同好会の一部として位置付けられていますが、将来の姿については今後の推移を見ながら考えて行くことにしてはどうかと思っています。

1. 女性だけの同窓会：

期日：平成 24 年 5 月 12 日 11：00～15：00

場所：東京ビル TOKIA 2 階「Mu y (ムイ)」

従来は数名のランチ会で親睦を深めていましたが、今年から新卒生の歓迎会を兼ね、初めて女性だけの同窓会を開催しました。

尚、女子会は新しい同窓会活動を具現し、気軽に楽しい集いです。

第 1 回同窓会



2. こうがく祭パネル討論会

「女性の就職を考える」

期日：平成 24 年 6 月 2 日 13：00～16：00

場所：工学部 E 1 棟 1 階多目的ラウンジ

参加者：78 名。

工学部長・副工学部長も臨席。近隣の女子高校生や

女学生が対象のパネル討論会で、彼女らの不安や悩みに先輩からアドバイスをし、母校の隆昌に寄与することが目的で企画されました。

こうがく祭パネル討論会



尚、討論会は地元 FM ラジオで紹介され、地元ケーブルテレビ局が録画、インタビューし、「Go! Go! 工学ガール!」でも 2 度放映されました。

3. 会報への寄稿：

昨年度は、本部会報(第 54 号)に太田悦子さん(昭 60 学電)、支部会報(第 14 号)に銭場礼子さん(昭 61 学化)と山本夏江さん(平 10 学機)が投稿され注目を集めました。

今年は、本部会報(第 55 号)に溝口わかなさん(平 18 博物)、支部会報(第 15 号)に鈴木葉子さん(昭 61 学化)が新鮮な話題を提供してくれました。尚、プロジェクト活動で活躍している現役大学院学生滝沢惟さん(平 23 学情)の記事は、多賀工業会と工学部の新しい信頼関係を示す具体的な成果です。

4. 今後の活動：

女性の目線で考える、活気溢れる女子会になると期待しています。

編集後記

◇昨年の東日本大震災からこの方我が列島は水の脅威に脅かされている。昨年のあの忌まわしい大津波の後、和歌山と言ひ、今夏の熊本と言ひ大変な目に遭っている現状は筆舌に尽くしがたいが、これも地球温暖化の影響ではなかろうか。◇東京支部幹事長の廣瀬行一氏の急逝も悲しいニュースで、氏のこれからの活躍が囑望されていただけに残念でならない。謹んで哀悼の誠を捧げたい。◇暗く悲しい話を先に書いてしまったが、明るく嬉しい話もある。多賀工業会本部顧問・寺門龍一氏の詠進歌入選は、多賀工業会にとっても我ら教え子にとっても大変な朗報であり、今後の励みにもなろう。何せ「27 回目の応募で念願叶う」と聞いただけで「俺は無理だ!」となる人が多いと思われるが、先ずもってそこから学ばなければならない。◇母校が管理している六角堂の

再建や大前研一氏が著書「日本復興計画」の売上の中からおよそ 700 万円を六角堂等復興基金に寄付した(H23-5-28 茨城新聞) ことなども明るいニュースと言えらる。◇今年はいこれまでの装本と異なることを試み、表紙の裏 2 面をカラー化してみた。詳しく読んでみようという気になっていただけたら幸いである。◇女子会設立に精力的に活動してきた故廣瀬氏の功に報いるためにも、女子会の今後の発展を見守りつつ、育成に努めるべきだが、学校同様に性差のない同窓会組織に向うことが究極の期待ではないか。◇会報編集担当委員として活躍された大原節さん(昭 38 学機)が四国への転居の為に会報編集室を辞されてから、10 年間女性編集担当委員が不在となっている。会報編集室や幹事会に女子会員を迎え入れられる日は何時のことか。鶴首して待っている。(兼子)

編集担当委員

| | |
|------------------|-----------------|
| 山崎 慎一郎 (昭 31 学原) | 兼子 八郎 (昭 38 学電) |
| 小林 渡 (昭 38 学電) | 小澤 茂 (昭 43 学子) |
| 石川 久 (昭 44 学子) | 藤枝 伸一 (昭 45 学子) |
| 松田 秀雄 (昭 49 院子) | 二川 克美 (昭 63 院情) |

多賀工業会東京支部会報 [第 15 号]

発行 平成 24 年 8 月 25 日
発行者 支部長 上月 秀俊
〒165-0034 東京都中野区大和町 3-21-12
TEL 03-3337-1300 FAX 03-3337-2715

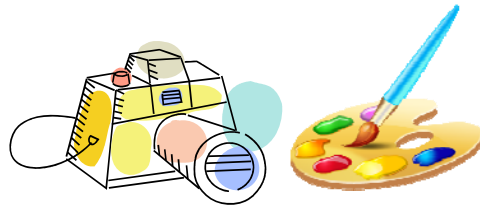
平成 23 年度同窓の集い
 写真展 (出展リスト:20頁)
 作品の中から



斎田和夫 (昭 2 8 学機)
 チャスパルバの祈り (ネパール)



鈴木日出男 (昭 3 0 学原)
 思春期 (ネパール)



菊地玲二 (昭 2 6 専通)
 茜空 (ハワイ海岸)



澤野孝慈 (昭 3 7 学機)
 ボン・ボワヤージュ (横浜港)



高橋伸二 (昭 4 1 学機)
 LOCK ON (馬事公苑)



小林渡 (昭 3 8 学電)
 早く出ておいで (横浜市内)



玉川信二 (昭 2 8 学電)
 飛天 (彫刻)



村松泰弘 (昭 4 4 学電)
 館川 (埼玉県小川町)
 (水彩画)

ご披露宴・結婚式場 大観の絵のあるレストラン ランドーレ 不忍池と上野の社を眼下に眺めて ビヤガーデン

ご宴会・出張料理 伝統に培われた純フランス料理 グリル フクシマ

創業明治5年 〒110-8715 東京都台東区上野公園 4-58
 五野精養軒 TEL 03-3821-2181 FAX 03-3822-1330
<http://www.seiyoken.co.jp>

Jun Home

検索 <http://www.junhome.co.jp>

社内報、ホームページで連載している「社長のひとりごと」が1冊の本になりました。

グスツと笑える、読むサプリメント『淳情物語』（薫風社出版）
 小沼 淳志 著

Amazon.co.jp
 お近くの書店で好評販売中!!

茨城大学工学部 S.41 (学化) 後援会長

(株) ジュン・ホーム 代表取締役 小沼 淳志

私たち大協印刷は、
 印刷に関わるあらゆるサービスをご提案しております。
 ぜひ一度ご相談ください。

大協印刷株式会社

〒110-0016 東京都台東区台東2-4-14
 TEL: 03-3837-5291 / FAX: 03-3837-5293 E-mail: info@daikyo-print.co.jp
<http://www.daikyo-print.co.jp>